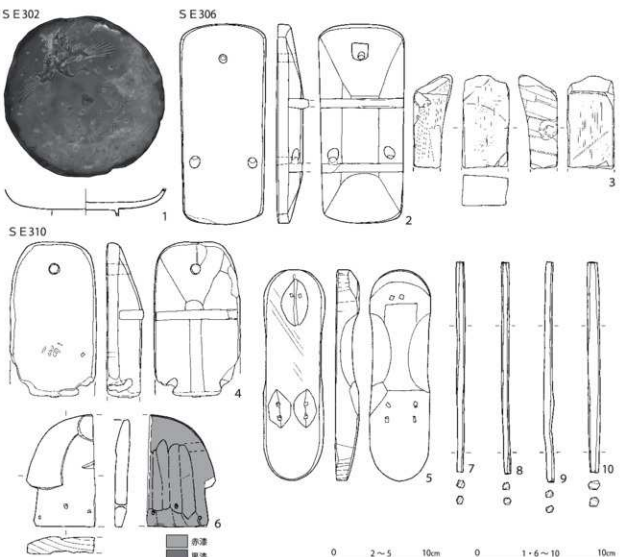
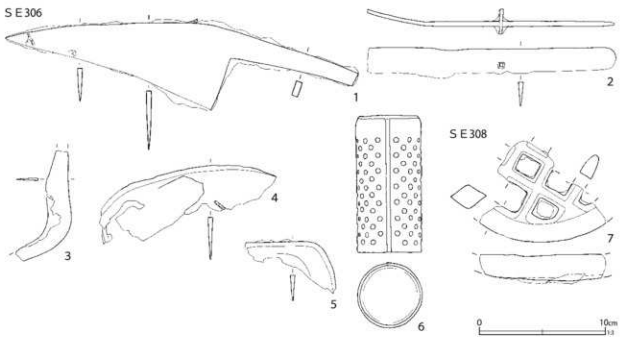
最下段には半裁した丸太で井桁状の方形枠を組む。丸太の隅に方形孔を穿ち、これに楔を打ち込み、別の丸太と結節している。方形枠上には板材を重ねて、桶の接地面を整えている。一方、方形枠材の下面には溝状の窪みが造られ、そこに竹材を縦にはめ込む。これにより竹の柵状の枠を造って、湧水点を囲んでいる。柵中段の側面に横板材をあてて、柵が崩れるのを押えているが、さらに下部の構造は湧水により確認し得なかった。

井戸内の覆土は、上層にはあまり混入物がなかったが、下層（第88図第６層）では、多量の蕎麦殻が確認された（自然科学分析参照）。この部分は蕎麦殻を主体とした層が形成されていた。

第89図に出土した陶磁器を示す。18、19はいずれも瀬戸美濃系磁器で、18が燔反碗、19は大振り、厚手の湯呑形碗である。他に体部丸形の坏も出土している。また、陶器では青緑釉土瓶が出土している。20は瓦質土器の火消壺で、扁平だがしっかりとした把手が付いている。第91図４～10は、出土した木製品である。木製品は蕎麦殻が出土した覆土下位からの出土が目立った。４・５の下駄、６の人形類に加え、７～10の箸が一定量出土しているのは注目される。５の下駄には「七銭」の文字が確認される。



第 91 図　井戸跡出土遺物（３）



第92図　井戸跡出土遺物（4）

第24表　井戸跡出土遺物観察表（3）（第91図）

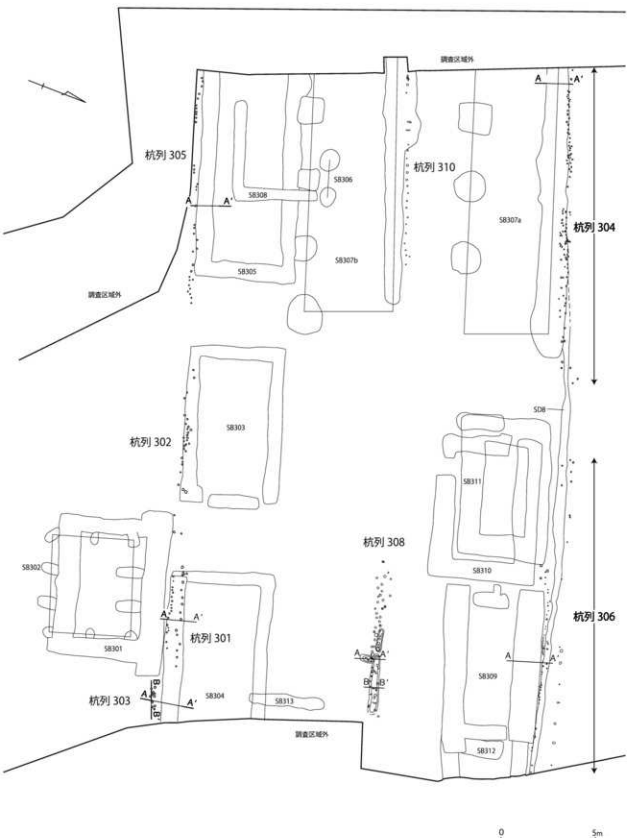
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径／径	高さ	底径	遺構	備考	図版
1	木製品	皿	—	—	—	—	[2.1]	—	SE302	内外面赤漆 内面金で文様	
2	木製品	下駄	21.1	9.0	—	—	[3.3]	—	SE306	除卯下駄	
3	石製品	砥石	[9.8]	[4.9]	[4.0]	—	—	—	SE306	擬方 流紋岩 使用面３ 平ノミ状痕	111-2
4	木製品	下駄	[16.4]	9.1	—	—	[3.9]	—	SE310	除卯下駄 焼印	
5	木製品	下駄	22.2	6.3	—	—	2.5	—	SE310	無眼下駄 墨書「七銭」（第91表参照）	
6	木製品	人形	8.8	[5.5]	1.4	—	—	—	SE310	裏面赤漆 一部黒漆 裏面抉り	101-13
7	木製品	箸	16.5	0.6	0.6	—	—	—	SE310		
8	木製品	箸	16.7	0.6	0.6	—	—	—	SE310		
9	木製品	箸	17.4	0.6	0.6	—	—	—	SE310		
10	木製品	箸	16.6	0.9	0.7	—	—	—	SE310		

第25表　井戸跡出土遺物観察表（4）（第92図）

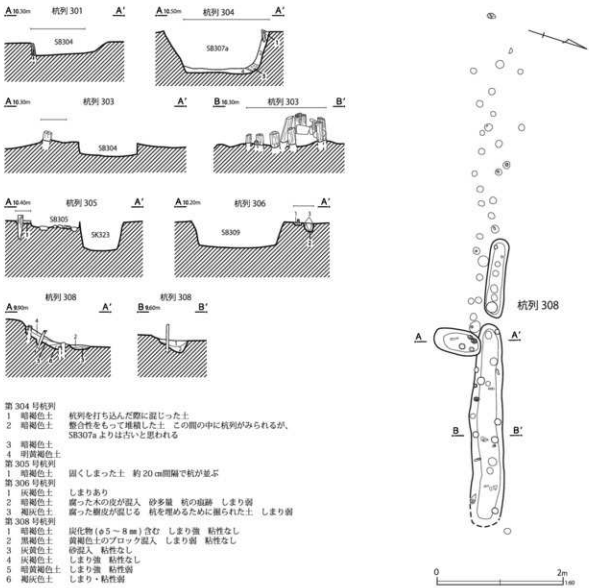
番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	鉄製品	包丁	長[28.1] 刃長[17.3] 刃幅[4.6] 背幅0.4 重242.6	SE306		108-1
2	鉄製品	不明	縦[2.4] 横[19.7] 厚0.4 重66.0	SE306		
3	鉄製品	刀物	長[8.7] 刃幅1.7 背幅0.2 重7.6	SE306	鉄か	108-1
4	鉄製品	不明	縦[6.2] 横[14.1] 厚0.4 重41.5	SE306		
5	鉄製品	不明	縦[4.2] 横[7.2] 厚0.4 重11.8	SE306		
6	鉄製品	不明	縦10.8 横5.2 重33.1	SE306		
7	鉄製品	六格子	縦[8.0] 横[9.9] 最大厚1.8 重344.1	SE308		108-1

（7）杭列

杭列は11条が検出された。杭列の多くは、溝の側板を支える杭のみが遺存して検出されたものと考えられる。若干層位を変えながら、同じ位置に何度も打ち込まれた杭列を、一括して検出したものと捉えられる。例えば、比較的遺存の良い第601号杭列の平面図（第95図）は、このことを良く示している。杭列と木樋、溝跡は、ともに区画施設としての性格を有す場合が多い。従って、これらの位置は敷地境と一致する傾向が強く、宿場の構造を捉える上で重要な情報を提供してくれる。位置、規模等の基本的な情報は第26表に、遺構図は第93～95図にまとめた。次に簡略に検出位置について確認する。


調査区域外
杭列 305
SB306
SB308
杭列 310
SB307a
杭列 304
SB307b
SB305
調査区域外
杭列 302
SB303
SD8
SB311
杭列 308
SB302
SB310
杭列 306
杭列 301
SB301
SB309
杭列 303
SB304
SB313
調査区域外
SB312
0
5m
1:200

第 93 図　杭列（1）



第 94 図　杭列（2）

第一面検出の杭列や木樋・溝跡は、

区画Ａ：第304・306号杭列以南

区画Ｂ：第308・310号杭列以南

区画Ｃ：第301・302・303・305号杭列、第302号木樋以南

区画Ｄ：第309号杭列以南

区画Ｅ：第601・603号木樋以南

区画Ｆ：第601号杭列以南

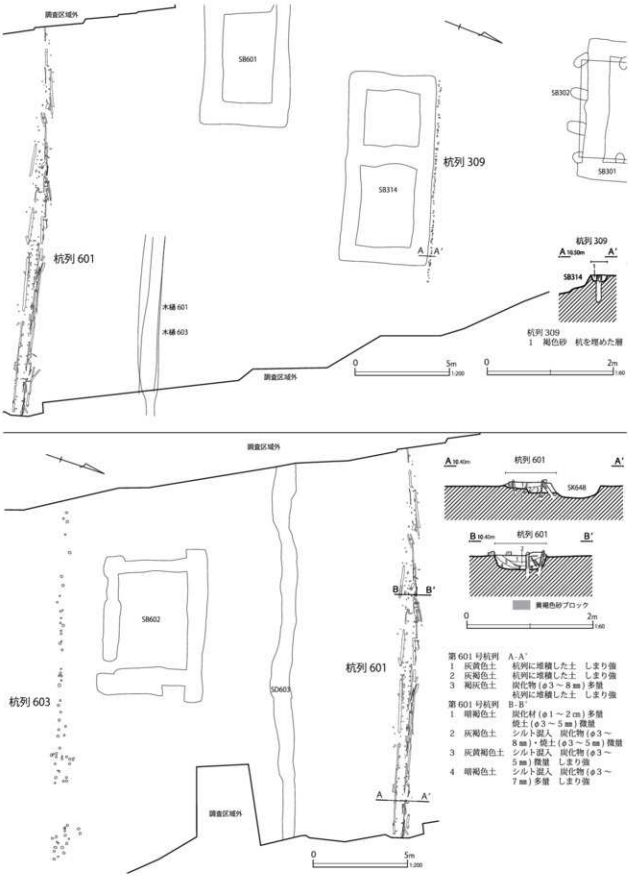
区画Ｇ：第603号溝跡以南

区画Ｈ：第603号杭列以南

以上の順で、北から南へ区画を構成すると考えられる。ただし、区画Ｃと区画Ｄの区画内の距離はかなり長い。実際には、この間にも敷地境が存在した可能性がある。これらの区画については、第Ⅵ章で文献との対比を試みる。

第 26 表　第一面杭列一覧表　単位：m

番号	グリッド	長さ	幅	主軸方向	備考
301	C6-G6/7	5.40	—	N-18° -E	
302	C6-G6, H5/6	8.80	—	N-17° -E	
303	C6-G7	1.22	—	N-16° -E	
304	C6-F3/4	16.80	—	N-21° -E	SB307a より古
305	C6-H4/5	11.50	—	N-18° -E	SB305 より古
306	C6-E5/6, F5	16.80	—	N-15° -E	覚永通寶 1
308	C6-F6	7.86	—	N-17° -E	
309	C6-H7/8, I7	10.60	—	N-17° -E	
310	C6-G3/4	10.10	—	N-21° -E	
601	C6-J8/9 D6-A7/8	20.20	—	N-16° -E	銭貨 17（寛永通宝 15 鉄銭 1 含）
603	D6-B8 - 10	18.50	—	N-16° -E	


調査区域外
SB601
SB314
杭列 309
SB302
SB301
杭列 601
木柵 601
木柵 603
A
A'
杭列 309
A 10.50m
A'
SB314
杭列 309
1 褐色砂 杭を埋めた層
0
5m
1:200
0
2m
1:60
調査区域外
SB602
杭列 603
SD603
杭列 601
B
B'
A
A'
調査区域外
A 10.40m
杭列 601
A'
SK648
B 10.40m
杭列 601
B'
黄褐色砂ブロック
0
2m
1:60
第 601 号杭列 A-A'
1 灰黄色土 杭列に堆積した土 しまり強
2 灰褐色土 杭列に堆積した土 しまり強
3 褐灰色土 炭化物(φ3～8㎜)多量
杭列に堆積した土 しまり強
第 601 号杭列 B-B'
1 暗褐色土 炭化材(φ1～2㎝)多量
焼土(φ3～5㎜)微量
2 灰褐色土 シルト混入 炭化物(φ3～8㎜)・焼土(φ3～5㎜)微量
3 灰黄褐色土 シルト混入 炭化物(φ3～5㎜)微量 しまり強
4 暗褐色土 シルト混入 炭化物(φ3～7㎜)多量 しまり強
0
5m
1:200

第 95 図 杭列（3）

第 96 図　杭列出土遺物

杭列は、全て第一面から検出され、第二面では確認されなかった。出土遺物は第96図に示したが、杭列の検出状況からみて、周囲からの混在遺物がかなりあるらしく、時期の決定は容易ではない。ただし、第一面と第二面の関係から、概ね19世紀前半に出現するものと思われる。

第96図12に示した肥前系磁器小碗は「板屋」銘が染付されたもので、同文の磁器碗と皿が、第３地点でもいくつか出土している。これについては、第Ⅵ章で再び触れる。

第27表 杭列出土遺物観察表（第96図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	猪口	(8.2)	5.9	5.2	HIK	25	良好	灰白	杭列 303	肥前系 施釉・染付	
2	陶器	灯明皿	(10.2)	1.9	(5.0)	IK	15	良好	灰黄	杭列 303	瀬戸美濃系 柿釉 重焼痕	
3	陶器	皿	—	[2.0]	—	IK	25	良好	灰白	杭列 304	瀬戸美濃系 長石釉（灰釉に近い）内面鉄絵 口縁・高台部紙具転用	47-3
4	陶器	灯明皿	(11.8)	2.0	—	HIK	20	良好	灰	杭列 304	志戸呂系 鉄釉 口縁部煤付着	
5	磁器	坏	—	[1.7]	2.6	K	50	良好	白	杭列 306	肥前系 施釉 外面染付	
6	磁器	皿	—	[1.6]	—	—	5	良好	白	杭列 308	中国景徳鎮窯系 施釉・染付	47-4
7	陶器	皿	—	[2.1]	5.6	IK	50	良好	灰白	杭列 308	瀬戸美濃系 灰釉 内面摺絵 底部穿孔（貫通せず）	
8	陶器	火入れか	—	[6.9]	(6.8)	—	15	良好	黄灰	杭列 308	京都信楽系か 外面白化粧後施釉	47-5
9	土製品	人形	幅 2.1	高 3.0	厚 2.3	A		不良	灰黄	杭列 308	体部別作り 前後合型成形 重 9.2g	95-4
10	磁器	碗	9.8	5.7	4.1	—	85	普通	灰白	杭列 601	肥前系 施釉 外面染付	
11	磁器	碗	(9.0)	[4.4]	—	—	20	良好	白	杭列 601	瀬戸美濃系 施釉・染付	
12	磁器	碗	8.5	4.0	3.2	—	100	普通	白	杭列 601	肥前系 施釉 外面染付「板屋」	47-7
13	磁器	碗	(7.1)	6.2	3.5	—	50	普通	灰白	杭列 601	肥前系 施釉・染付 被熱	
14	磁器	碗	—	[3.2]	(3.9)	—	15	良好	白	杭列 601	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
15	陶器	坏	5.8	3.6	2.5	I	70	普通	灰白	杭列 601	京都信楽系 施釉	
16	陶器	坏	—	[1.8]	3.1	H	40	良好	灰白	杭列 601	大堀相馬系 施釉	47-8
17	陶器	灯明皿	10.1	1.9	4.7	I	100	良好	褐灰	杭列 601	瀬戸美濃系 柿釉 内面重焼痕	
18	陶器	乗燭	—	[4.7]	4.7	D	50	良好	灰白	杭列 601	底部糸切痕（右）穿孔 鉄釉 底部墨痕	47-6 73-11
19	施釉土器	カンテラ	(3.8)	[1.3]	—	E	5	普通	にぶい橙	杭列 601	双口部破片 透明釉 煤付着	
20	磁器	坏	2.4	1.2	0.9	—	—	良好	白	杭列 601	紅坏 施釉 外面施文 重 2.7g	
21	土製品	不明	径 2.2 高 1.5			E	—	普通	灰黄	杭列 601	外面縦ヘラナデ 穿孔 1 重 3.9g	95-3
22	土製品	ミニチュア	径 3.4 高 1.8			—	—	普通	灰白	杭列 601	濃い緑釉 京都系 重 3.9g	95-5
23	鉄製品	火打金	長 7.1 幅 3.0 厚 0.4 重 41.6							杭列 601		
24	木製品	漆椀	—	[5.0]	5.2	—	—	—	—	杭列 601	内面赤漆 外面黒漆 高台内赤漆で文字	101-14
25	石製品	硯	長 [14.3] 幅 6.4 厚 2.2 重 295.5						石材 凝灰岩	杭列 601	風化激しい	
26	石製品	砥石	長 [6.6] 幅 [4.7] 厚 [3.0] 重 160.5						石材 流紋岩	杭列 601	使用面 3 端広工具・ノコギリ痕	111-2

（8）木樋

木樋は6条が検出された。位置、規模等の基本的な情報は第27表に、遺構図は第97～100図に示した。

第301号木樋（第97図）

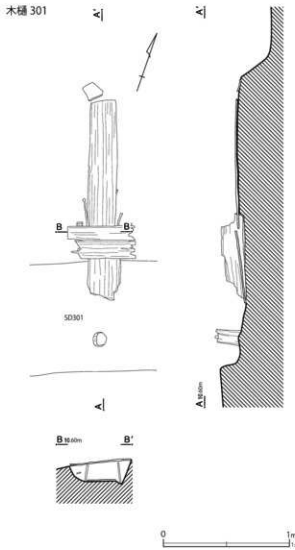
C6-G6グリッドから南北方向に検出された短い木樋で、長さ1.58mが遺存する。南部で第301号溝跡に接続する。一部に蓋状の板材が遺存する。第301号溝跡に北側敷地内から排水するものと考えられる。第304号建物跡の範囲と重複するが、関連性は不明である。部材の底板を第103図1に示した。

第302号木樋（第99図）

C6-G6グリッドに位置し、第301・302号杭列を繋ぐ位置に構築され、一部が第301号溝跡に掘り込まれる。底板と両側板が7.04mにわたり遺存する。溝構築以前に木樋を用いていた可能性がある。第103・104図2～16に、木樋の部材を

第28表 第一面木樋一覧表 単位：m

番号	グリッド	長さ	幅	深さ	主軸方位	備考
301	C6-66	1.58	0.25	0.17	N-19°-W	内法径 0.23 深さ 0.13 SD301に接続 SB304・SK357・353 重複 銭貨1（錆化）
302	C6-66	7.04	0.20	0.09	N-72°-E	内法径 0.15 深さ 0.07 SD301より古
303	C6-65, H5	6.19	0.25	0.16	N-70°-E	内法径 0.22 深さ 0.15 SB303より古
601	C6-J8/9	9.52	0.40	0.17	N-71°-E	内法径 0.37 深さ 0.14 木樋 603と重複
602	D6-A7/8, B7/8	6.42	—	—	N-61°-E	樋 622 より新 焼土遺構 603・SD603・SK605 重複
603	C6-J8/9	6.25	—	—	N-77°-E	木樋 601 最下部より検出



第 97 図　木樋（1）

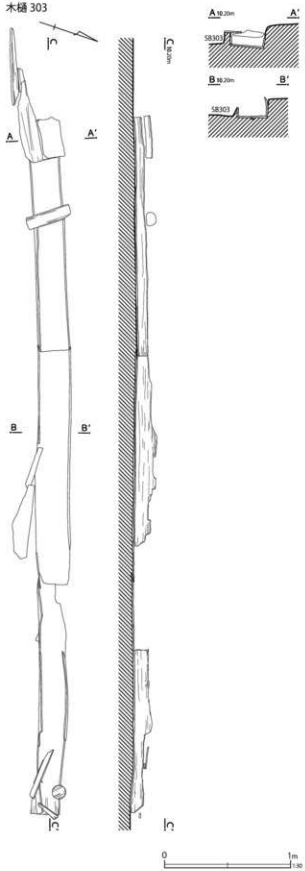
示す。

第303号木樋（第98図）

Ｃ６−Ｇ５、Ｈ５グリッドに位置し、第303号建物跡に壊されている。長さ6.19ｍが遺存する。第302号木樋の西側に確認されたが、軸方向は一致せず、時期の異なる木樋と考えられる。底板３枚分と両側板が遺存する。第105図17〜21に木樋の部材を示した。

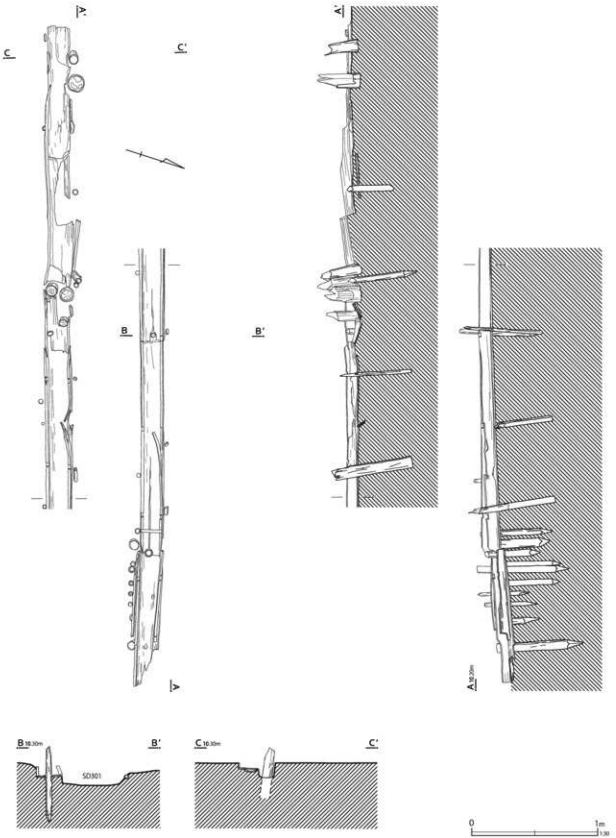
第601・603号木樋（第100図）

Ｃ６−Ｊ８・９グリッドに位置する。ほぼ同位置に新旧の木樋が重なった状態である。第601号木樋は複数の木樋が壊れて重なっている可能性があり、その最下層に遺存していた古段階の木樋が

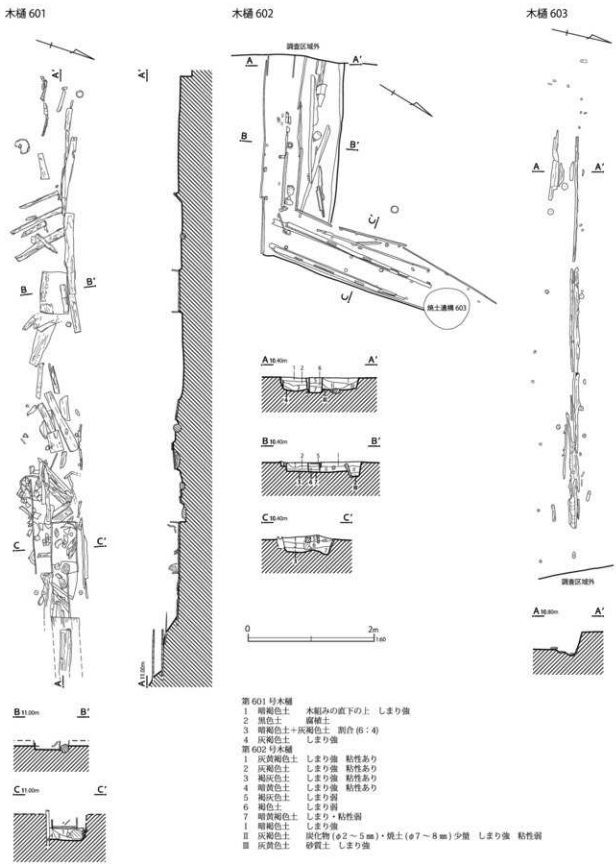


第 98 図　木樋（2）

木樋302

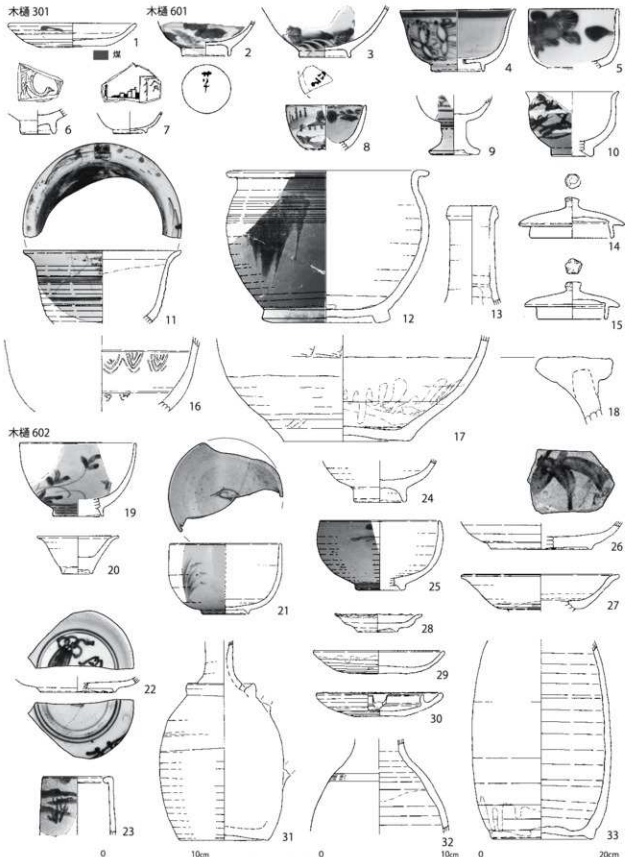


第99図　木樋（3）



第 601 号木樋
1　暗褐色土　木組みの直下の上　しまり強
2　黒色土　腐植土
3　暗褐色土＋灰褐色土　割合（6：4）
4　灰褐色土　しまり強
第 602 号木樋
1　灰黄褐色土　しまり強　粘性あり
2　灰褐色土　しまり強　粘性あり
3　褐灰色土　しまり強　粘性あり
4　暗黄色土　しまり強　粘性あり
5　褐灰色土　しまり弱
6　褐色土　しまり弱
7　暗黄褐色土　しまり・粘性弱
1　暗褐色土　しまり強
Ⅱ　灰褐色土　風化物（φ2～5㎜）・焼土（φ7～8㎜）少量　しまり強　粘性弱
Ⅲ　灰黄色土　砂質土　しまり強

第 100 図　木樋（4）



第 101 図　木樋出土遺物（1）

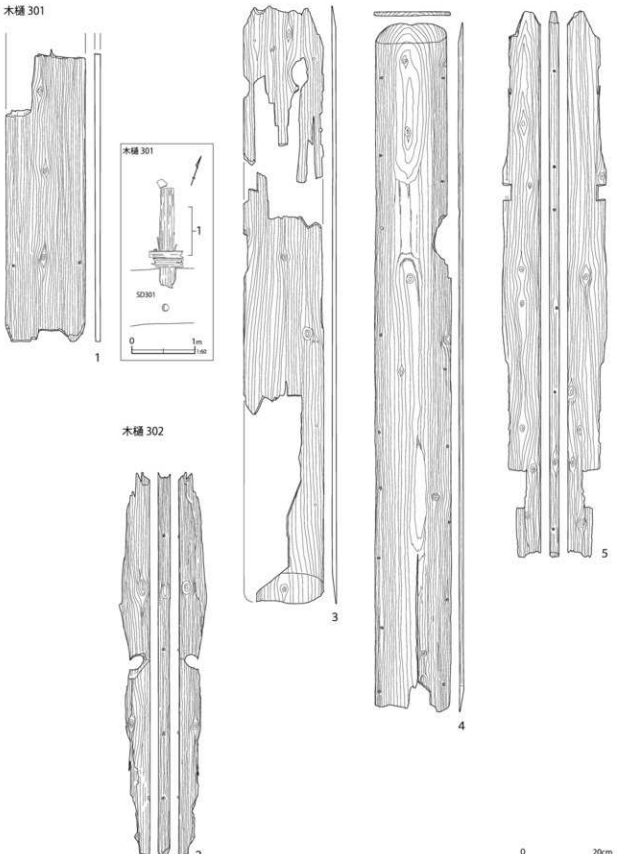
第 29 表　木樋出土遺物観察表（1）（第 101 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	陶器	灯明皿	10.0	1.9	5.1	IK	80	良好	灰白	木樋 301	瀬戸美濃系 柿釉 重焼痕	
2	磁器	碗	−	[2.6]	(3.6)	−	25	良好	白	木樋 601	肥前系 施釉 外面染付 焼継痕・焼継印（赤）	47-9 73-13
3	磁器	碗	−	[3.9]	(3.8)	−	20	良好	白	木樋 601	瀬戸美濃系 施釉 外面染付 焼継印（赤）	73-12
4	磁器	碗	9.0	4.9	(4.1)	−	90	良好	白	木樋 601	瀬戸美濃系 施釉・染付	
5	磁器	碗	[7.0]	[4.7]	−	−	30	良好	白	木樋 601	瀬戸美濃系 施釉 外面陰刻文 染付	
6	磁器	碗	−	[1.8]	(2.5)	−	15	良好	白	木樋 601	瀬戸美濃系 施釉（外面クロム青磁釉）・陰刻文	47-10
7	磁器	坏	−	[1.6]	2.3	−	25	良好	白	木樋 601	瀬戸美濃系 施釉 内面上絵付	47-12
8	陶器	坏	(6.3)	[3.5]	−	I	15	良好	にぶい黄橙	木樋 601	白土染付	47-11
9	磁器	仏飯器	−	[4.8]	3.6	−	55	良好	白	木樋 601	瀬戸美濃系 施釉 外面上絵付（赤）	
10	陶器	碗	(7.2)	5.1	3.1	I	35	良好	灰白	木樋 601	萩焼 内面施釉 外面ビラ掛け	47-13
11	磁器	鉢か	12.5	[5.8]	−	−	40	良好	白	木樋 601	肥前系 施釉 内面染付 外面鉄釉 被熱	47-14
12	陶器	甕	19.9	16.2	11.0	DI	70	良好	灰白	木樋 601	瀬戸美濃系 柿釉 外面鉄釉流掛 内底面目跡 4 高台内墨痕	
13	陶器	徳利	3.7	[7.8]	−	I	10	普通	灰白	木樋 601	灰釉	48-2
14	陶器	蓋	−	3.1	(6.2)	IK	30	良好	黄灰	木樋 601	松岡系 上面海鼠釉	48-6
15	陶器	蓋	−	2.7	5.0	IK	95	普通	にぶい黄橙	木樋 601	松岡系 外面灰釉 つまみ部分海鼠釉	48-5
16	陶器	鉢	−	[6.1]	−	I	5	普通	灰白	木樋 601	瀬戸美濃系 緑釉 内面スタンス文 第二面 SK677 に同一個体（第 294 図 480）	48-1
17	陶器	甕	−	[17.0]	20.2	DEH	15	良好	褐灰	木樋 601	常滑 砂目底 一部鉄泥 18 と同一個体	
18	陶器	甕	−	[5.3]	−	DEH	5	良好	褐灰	木樋 601	常滑 内面刷毛塗状に鉄泥	
19	磁器	碗	(9.1)	5.8	(3.4)	K	20	良好	灰白	木樋 602	肥前系 施釉 外面染付	
20	磁器	坏	6.3	3.0	2.2	−	95	良好	灰白	木樋 602	肥前系 施釉	
21	磁器	碗	(8.7)	5.6	(3.6)	−	45	良好	灰白	木樋 602	肥前系 施釉・染付	
22	磁器	皿	−	[1.3]	(5.8)	−	40	良好	白	木樋 602	肥前系 施釉（内面青磁釉掛分）・染付	
23	陶器	香炉	(5.4)	[4.6]	−	K	35	良好	灰白	木樋 602	瀬戸美濃系 外面灰釉 鉄絵	48-3
24	陶器	碗	−	[3.4]	(3.9)	−	70	良好	灰白	木樋 602	肥前系 灰釉	
25	陶器	碗	(9.4)	5.5	(3.2)	D	30	良好	灰白	木樋 602	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
26	陶器	皿	−	[2.3]	(7.8)	IK	25	良好	灰白	木樋 602	瀬戸美濃系 灰釉 内面鉄絵	
27	陶器	皿	(12.2)	[3.0]	−	EK	20	良好	灰白	木樋 602	瀬戸美濃系 長石釉 内面蛇の目状釉剥	
28	陶器	皿	6.9	1.5	2.9	−	100	良好	灰白	木樋 602	瀬戸美濃系 灰釉（ヒダ皿）	
29	陶器	灯明皿	10.2	1.8	4.4	IK	90	良好	褐灰	木樋 602	瀬戸美濃系 柿釉 内面重焼痕	
30	陶器	灯明皿	9.7	1.9	4.1	K	100	良好	灰白	木樋 602	瀬戸美濃系 柿釉 重焼痕	
31	陶器	油徳利	−	[15.8]	7.0	−	90	良好	にぶい黄橙	木樋 602	瀬戸美濃系 外面柿釉 底部拭き取り	
32	陶器	徳利	−	[7.5]	−	IK	10	良好	灰白	木樋 602	瀬戸美濃系 外面灰釉	
33	陶器	徳利	−	[15.7]	7.4	IK	70	良好	灰白	木樋 602	瀬戸美濃系 外面灰釉・下位拭き取り	

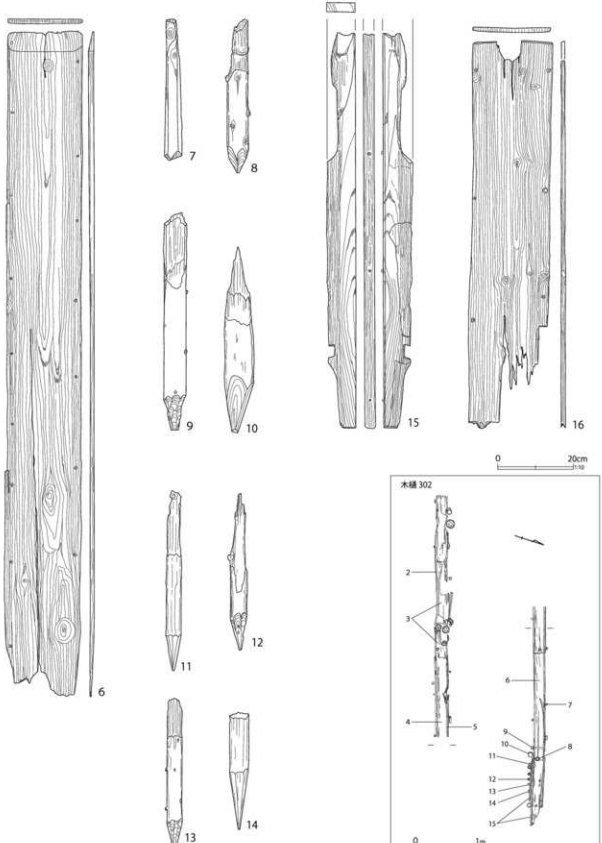
第 102 図　木樋出土遺物（2）

第 30 表　木樋出土遺物観察表（2）（第 102 図）

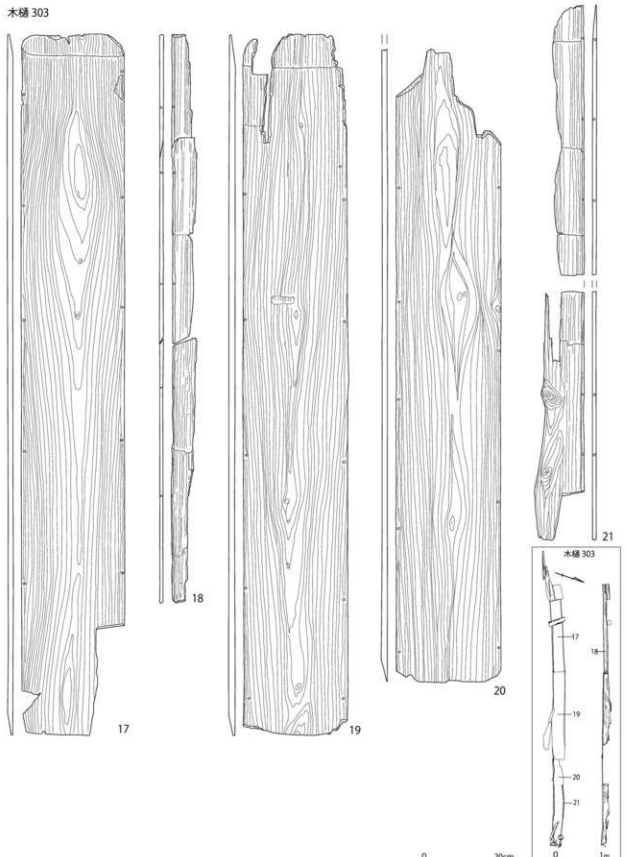
番号	種別	器種	幅	長さ	厚さ	重量	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	土製品	小壺	(2.8)	2.5	(1.6)	4.4	A	良好	橙	木樋 601	底部糸切痕（左） 残存 1/3 江戸在地系か	
2	土製品	人形	3.8	3.7	1.5	9.5	A	良好	にぶい黄橙	木樋 602	柿種 前後合型成形	95-6
3	土製品	ミニチュア	現存高 3.9 上笠幅 2.3			[8.0]	−	良好	灰白	木樋 602	左右合型成形 京都系	95-7



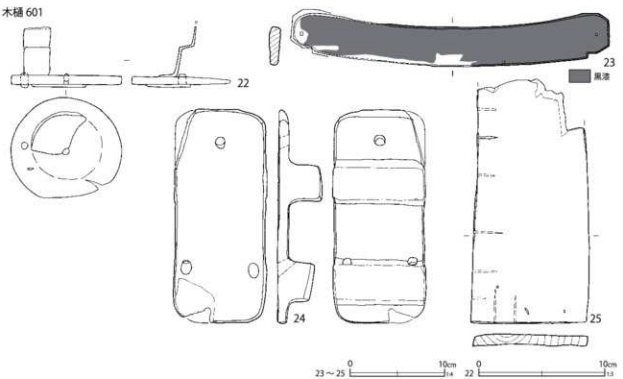
第 103 図　木樋出土遺物（3）



第 104 図　木樋出土遺物（4）



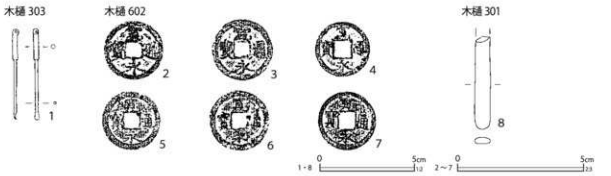
第105図　木樋出土遺物（5）



第 106 図　木樋出土遺物（6）

第 31 表　木樋出土遺物観察表（3）（第 103 ～ 106 図）

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径 / 径	高さ	底径	遺構	備考	図版
1	木製品	木樋	[76.0]	21.0	1.5	—	—	—	木樋 301	底板 釘残存 釘穴	
2	木製品	木樋	[102.5]	[6.5]	3.0	—	—	—	木樋 302	側板	
3	木製品	木樋	(183.5)	20.5	1.0	—	—	—	木樋 302	底板 釘穴	
4	木製品	木樋	182.5	20.5	1.0	—	—	—	木樋 302	底板 端部に杭押えの穴 釘残存 釘穴	
5	木製品	木樋	[144.0]	10.5	2.5	—	—	—	木樋 302	側板 底面に釘穴	
6	木製品	木樋	[175.0]	21.0	1.0	—	—	—	木樋 302	底板 端部に杭押えの穴 釘残存 釘穴	
7	木製品	杭	37.0	—	—	4.5	—	—	木樋 302		
8	木製品	杭	[40.5]	—	—	5.5	—	—	木樋 302		
9	木製品	杭	[57.5]	—	—	6.0	—	—	木樋 302	ヒノキ科	
10	木製品	杭	[49.0]	—	—	7.5	—	—	木樋 302		
11	木製品	杭	[47.5]	—	—	4.0	—	—	木樋 302		
12	木製品	杭	[41.5]	—	—	4.5	—	—	木樋 302		
13	木製品	杭	[39.5]	—	—	4.0	—	—	木樋 302		
14	木製品	杭	[31.0]	—	—	5.0	—	—	木樋 302		
15	木製品	木樋	[104.0]	7.5	2.5	—	—	—	木樋 302	側板 底面に釘残存 ヒノキ科	
16	木製品	木樋	[104.5]	21.0	1.0	—	—	—	木樋 302	底板 端部に杭押えの穴 釘残存 釘穴 マツ属複維管束亜属	
17	木製品	木樋	185.0	27.0	1.5	—	—	—	木樋 303	底板 釘残存	
18	木製品	木樋	(149.5)	[6.5]	1.0	—	—	—	木樋 303	側板 釘残存 釘穴	
19	木製品	木樋	185.0	27.5	1.5	—	—	—	木樋 303	底板 釘残存	
20	木製品	木樋	[167.0]	27.5	1.5	—	—	—	木樋 303	底板 釘残存	
21	木製品	木樋	[128.0]	[11.5]	1.0	—	—	—	木樋 303	側板 釘穴	
22	木製品	曲物	—	—	0.7	—	—	8.7	木樋 601	底板 鉄板高 [4.0] 厚 0.1 ～ 0.2cm	
23	木製品	調度品	(33.6)	4.7	1.2	—	—	—	木樋 601	部材 黒漆	
24	木製品	下駄	22.5	9.8	—	—	4.6	—	木樋 601	連歯下駄	
25	木製品	箱	[25.8]	12.4	1.2	—	—	—	木樋 601	側板 墨書「會社」（第 91 表参照）表面側面に釘穴	



第107図　木樋出土遺物（7）

第32表　木樋出土遺物観察表（4）（第107図）

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	銅製品	耳かき	長5.1 厚0.2 重0.9	木樋303		
2	銅製品	銭貨	径23.8 厚1.21 重3.2	木樋602	寛永通宝（古）	
3	銅製品	銭貨	径24.5 厚1.29 重3.6	木樋602	寛永通宝（古）	
4	銅製品	銭貨	径21.4 厚1.20 重2.0	木樋602	寛永通宝（新）	
5	銅製品	銭貨	径24.2 厚1.33 重2.8	木樋602	寛永通宝（新）	
6	銅製品	銭貨	径23.6 厚1.53 重3.7	木樋602	寛永通宝（新）	
7	銅製品	銭貨	径23.6 厚1.03 重2.6	木樋602	寛永通宝（新）	
8	硝子製品	笄	長［4.9］幅0.7 厚0.3 重［3.6］	木樋301	中実 乳白色か 表面風化	114-5

第603号木樋と捉えられる。いずれも遺存状況は悪く、底板は部分的に残るのみである。第601号木樋からは、遺物が比較的豊富に出土した。第101図2～18は出土した陶磁器で、19世紀中葉頃の遺物が主体である。2・3はともに焼継印のある磁器碗である。6は外面青磁釉の磁器坏で、内面釉下には羽を広げた鶴が細い陰刻状に描かれている。7は磁器の卵殻手坏で、内面に上絵付が施される。8は白土染付の陶器坏である。10は萩焼のびら掛け碗である。11はやや赤味を帯びた鉄釉が体部に横帯状に施された磁器である。内面は露胎となる。被熱しており煤の付着が激しい。13は地方窯系の徳利で、胴部の大きく張る鶴首瓶形になる。遺存部分は灰釉だが、胴部は鉄釉等、別の釉が掛け分けられるものと考えられる。14・15は松岡系陶器土瓶の蓋で、つまみは菊花状に型抜きされる。16は瀬戸美濃系陶器で、緑釉が全面に掛けられる。内面には陰刻状にスタンプ文が施される。同一個体の可能性がある上部の破片が第二面の第677号土壙から出土している（第294図480）。17・18は同一個体の可能性がある常滑焼甕の底部と口縁部である。第102図1は土製品小壺でロクロ成形である。第106図は木製品である。23は黒漆が塗られており、調度品と考えられる。遺物から19世紀中葉～後半に廃絶したものと考えられる。

第602号木樋（第100図）

D6-A8グリッドから南に延び、途中で西へ方向を変え、調査区外に延びる。調査区際では第622号埋設桶が木樋下から検出されている。木樋は掘方内で2、3列分確認され、2回以上造り直している。掘方内から建築材も出土しているが、木樋の一部として用いられたものか、側板の裏込めに用いたものか判断し難い。

陶磁器は第101図19～33に示した。時期幅が大きいが、全体的には18世紀後半までの遺物が主体である。26は志野蘭竹文皿と考えられるが、釉薬は透明感の強い灰釉となっている。最新期の遺物に陶器の擂徳利が認められることから、廃絶は19世紀中葉と考えられる。また、寛永通宝（鉄銭4含む）10枚が接着して出土した。第107図にその一部を示す。

（9）竹樋

竹樋は1条が検出されたが、遺存状態は不良で、上部を削平された状態であった。

第601号竹樋（第108図）

C6-J8・9グリッドから検出された。検出された時点で、覆土は完全に失っており、掘方の痕跡も検出できなかった。検出できたのは竹樋本体の竹管とジョイントの役割を果たす木製品（幅20cm）のみである。従って、より上層から掘った掘方の底面に、竹樋を設置した遺構の残存部と判断される。竹樋の遺存長は1.29m、竹管径8cmであった。帰属時期は不明である。

（10）溝跡

溝跡は5条が検出された。位置、規模等の基本的な情報は第33表に、遺構図は第109・110図にまとめた。

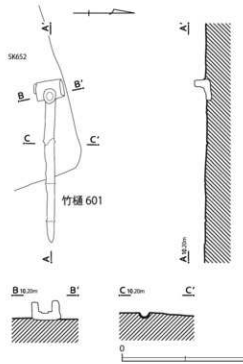
第301号溝跡（第109図）

C6-G6・7、H5・6グリッドから検出された。総延長は14m以上で、東側は調査区外に延びる。中央部で第302号木樋を掘り込んでいるが、ほぼ同一箇所に構築されている。両端部は第303・304号建物跡に掘り込まれている。

出土した陶磁器を第111図1～10に示した。瀬戸美濃系磁器の湯呑形碗（1）や、イッチン描きの土瓶蓋（6）、三彩土瓶蓋（7）がみられる。3は脚付杯状の磁器で、あまり見かけない形である。第112図1は金属製品の煙管である。出土遺物から、19世紀中葉に廃絶した遺構と考えられる。

第601・602号溝跡（第110図）

D6-A7・8グリッドから検出された比較的



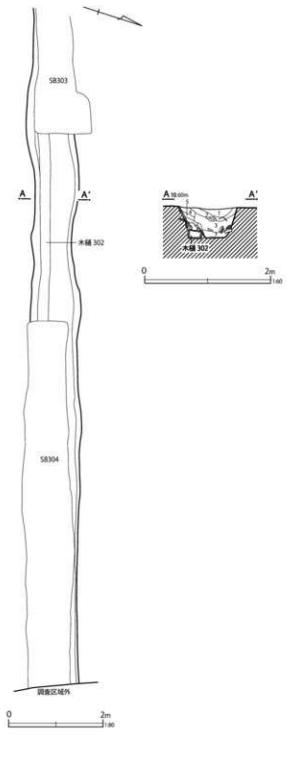
第 108 図　第 601 号竹樋

短く浅い溝跡で、少し位置をずらしながら東西に並んでいる。第601号溝跡が長さ3.98m、第602号溝跡が長さ7.49mである。他の溝跡は、敷地境と思われる部分から検出されているが、この2条は第601号杭列・第602号溝跡間の敷地内（区画F）にあるように思われる。

第111図11は第601号溝跡出土の銅版転写染付磁器坏で、「大日本國美濃國土岐郡定林寺村後藤新八清製」の銘が絵付けされる。12～15は第602号溝跡出土の陶磁器で、12は瀬戸美濃系磁器の霊芝文が描かれた端反碗、13は酸化クロム青磁釉に白盛で絵付けされた湯呑形坏である。14は瀬戸美濃系陶器の蓋物の身で、器高が低く、腰が張る器形である。15は酸化コバルト染付の磁器皿で、蛇の目状高台部には「油」の墨書がある。

第 33 表　第一面溝跡一覧表　単位：m

番号	グリッド	長さ	幅	深さ	主軸方向	備考
301	C6-G6/7,H5/6	14.33	0.86	0.45	N-73° -E	木樋 302 より新 SB303・304 より古
601	D6-A7/8	3.98	0.46	0.10	N-69° -E	SK605 より新
602	D6-A8	7.49	0.60	0.28	N-70° -E	SK605 より新
603	D6-A7 ～ 9	20.25	0.81	0.63	N-71° -E	SK621・641 重複
604	D6-A9	3.74	0.89	0.37	N-69° -E	桶 608・SK647 重複



第301号溝跡
1　暗灰褐色砂　サラサラした印象の土　炭化物（φ6～7㎜）混入
2　暗褐色土砂　1層より固い　焼土（φ1㎝）混入　底部中心に丸太
3　灰黒色土　砂多量　木片等多量　下部より灯明皿出土
4　黄褐色土　砂・焼土・炭化物（φ0.8～1㎝）混入　しまり極めて強
5　淡褐色土　砂質　しまり極めて強
6　暗黄褐色土　砂質　瓦片や材木で溝の側面を固める
7　灰黒色土　砂多量

第 109 図　溝跡（1）

出土遺物からいずれの溝跡も19世紀後半の遺構である。

第603号溝跡（第110図）

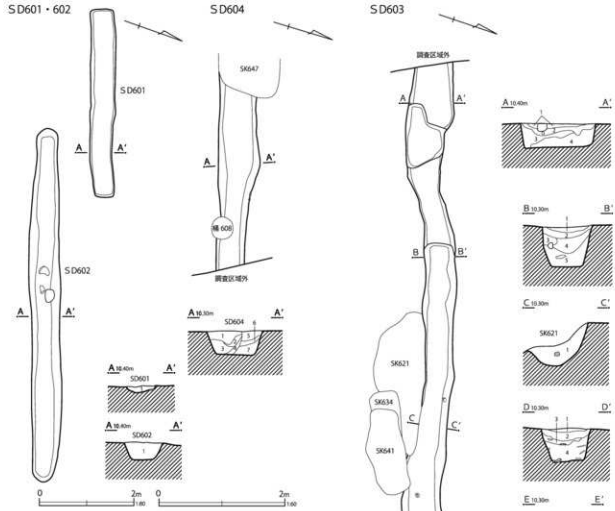
D6-A7～9グリッドで検出された溝跡で、調査区を東西に横断する。検出された総延長は20.25mである。他の敷地境の多くが、杭列や木樋であるのと比較すると異質である。断面形も比較的しっかりした逆台形である。ただし、底面にはレベル差があり、所々に段差があったようである。部分的な掘り直しが繰り返されている可能性もある。杭等の痕跡はほとんど確認できず、側板等の付属施設は伴わないと考えられる。

第111図16～26に出土した陶磁器を示す。17は瀬戸美濃系磁器の端反碗底部、19は瀬戸美濃系陶器の鉄絵が描かれた皿で、ともに19世紀前半の遺物であろう。他に、外面にトビガンナ状施文を伴う陶器土瓶が出土している。20は碁笥底の灰釉灯明皿、21は受付の柿釉灯明皿、22は一升徳利、23は緑釉が施された香炉で、ともに瀬戸美濃系陶器である。24も瀬戸美濃系陶器の漫瓶で、底部には「元タラ」の墨書が認められる。25は輪高台状の脚台が付く土器の火鉢である。このような形態の火鉢は栗橋宿跡では多く出土する。一方で、江戸地域ではほとんど出土例が無く、主として利根川沿岸で生産された在地土器と考えられる。内面下部に火箸状痕跡が顕著に残る。第113図1～5には、木製品と石製品を示す。

第604号溝跡（第110図）

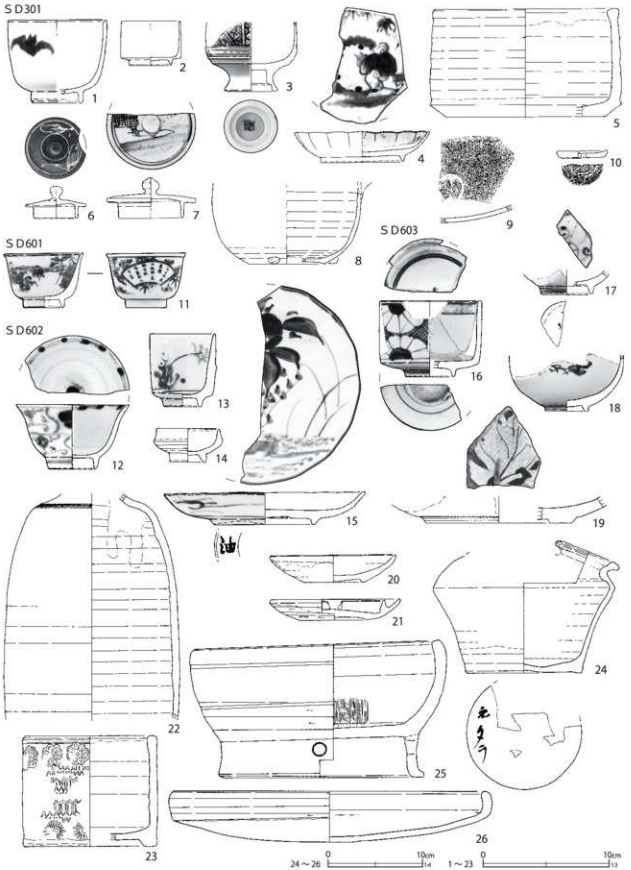
D6-A9グリッドで検出された溝跡で第603号溝跡と並走する。ただし、第647号土壙と重複した西側は検出されず、比較的短い溝だったと考えられる。遺存長は3.74mである。

第112図4には、底面付近から検出された銅製品の火箸を示した。陶磁器類から最終埋没は19世紀後半と考えられる。



第 601 号溝跡
1　褐色砂質土　植物根を含む
第 602 号溝跡
1　褐色砂質土　植物根を含む
第 603 号溝跡　A・A'
1　灰褐色土　炭化物（φ0.8 ～ 2 ㎝）・焼土（φ1 ㎝）微量　しまり強
2　灰黄褐色土　炭化物（φ0.8 ～ 1.5 ㎝）多量　しまり強
3　焼土層　ザクザクした印象の土　炭化物（φ1 ～ 2 ㎝）微量　焼土（φ3 ㎝）7 割強含む
4　炭化物層　ザクザクした印象の土　炭化材のみの層
第 603 号溝跡　B・B'
1　灰褐色土　炭化物（φ5 ～ 8 ㎜）微量　しまり強
2　灰黄褐色土　炭化物（φ0.8 ～ 1 ㎝）微量　しまり強
3　暗黄褐色土　炭化物（φ5 ～ 8 ㎜）多量　しまり強　粘性弱
4　炭化材＋灰黄褐色土（割合 7：3）
5　炭化材＋木質が残る層
第 603 号溝跡　C・C'
1　炭化物層　9 割強が炭化物　ザクザクした印象の土　黄褐色砂部分的に混入
第 603 号溝跡　D・D'
1　黄灰色砂質土　比較的硬化　炭化物の薄層をランダムに混じえる
2　黄灰色砂　黄白色シルトブロック（φ3 ㎝）少量　炭化物（φ1 ～ 2 ㎝）極少量　しまりあり
3　黄灰色砂＋炭化物の混合層　しまり弱　大きな材木を多量
4　黒色土　炭化材（長 1 ㎝前後）が主体　しまり弱　黄灰色砂微量　焼土ブロック（φ2 ㎝）ややや少量　木材を多く含む
第 604 号溝跡
1　灰黄色土　シルト混入　しまり強
2　灰黒色土　シルト微量　しまり強
3　灰褐色土　炭化物（φ2 ～ 3 ㎜）微量　しまり強
4　褐色土　黄褐色土のブロック多量　しまり強　粘性あり
5　褐色土　シルト少量　炭化物（φ0.5 ～ 1.2 ㎝）多量　撹乱の粒少量　しまり強
6　暗黄褐色土　炭化物（φ2 ～ 5 ㎜）微量　しまり強
7　灰黄褐色土　シルト混入　炭化物（φ0.5 ～ 2 ㎝）・鉄分多量　しまり強

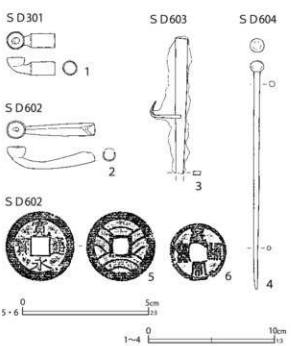
第 110 図　溝跡（2）



第 111 図　溝跡出土遺物（1）

第 34 表　溝跡出土遺物観察表（1）（第 111 図）

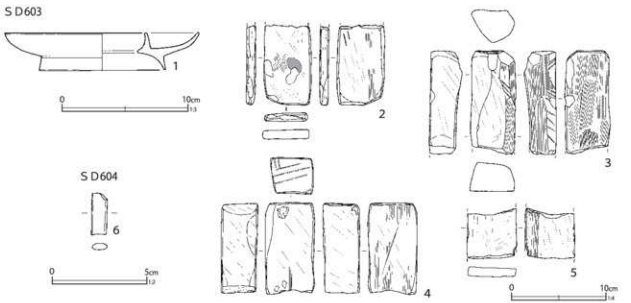
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(7.6)	6.6	3.8	HIK	45	良好	白	SD301	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
2	磁器	坏	4.5	4.5	3.2	K	65	良好	白	SD301	瀬戸美濃系 施釉	
3	磁器	不明	—	[5.5]	4.2	K	70	良好	白	SD301	肥前系 施釉 外面染付	48-4
4	磁器	皿	(10.6)	2.4	6.4	HIK	50	良好	灰白	SD301	肥前系 施釉 外面染付	
5	陶器	香炉	(14.4)	8.5	(12.5)	HIK	20	良好	灰白	SD301	瀬戸美濃系 灰釉	
6	陶器	蓋	—	2.5	3.4	HIK	95	良好	灰黄	SD301	外面施釉・イッチン文様 最大径 4.8（土瓶）	48-7
7	陶器	蓋	—	3.2	(5.1)	HIK	60	良好	にぶい黄橙	SD301	上面施釉・鉄絵 最大径 7.0（山水文土瓶）	
8	陶器	土瓶	—	[6.4]	(6.0)	IK	30	良好	にぶい赤褐	SD301	松岡系 外面海鼠釉	
9	土師質土器	焙烙	—	[1.4]	—	AHIK	5	普通	にぶい褐	SD301	内面刻印（「〇」に「一」）	
10	かわらけ	小皿	(3.9)	0.6	(3.8)	AHIK	40	普通	にぶい橙	SD301	底部糸切痕（左） 底中心に穿孔	
11	磁器	坏	6.2	4.3	3.0	—	90	良好	白	SD601	美濃（定林寺） 施釉 外面銅版転写染付（「後藤新八」銘染付）	48-8
12	磁器	碗	(8.8)	5.1	3.8	—	45	良好	白	SD602	瀬戸美濃系 施釉・染付	
13	磁器	坏	5.1	5.8	2.9	—	95	良好	白	SD602	瀬戸美濃系 施釉 外面クロム青磁釉・上絵付・白盛	
14	陶器	蓋物か	4.9	2.6	2.7	DI	100	普通	褐灰	SD602	瀬戸美濃系 灰釉 口唇内部釉剥ぎ	48-9
15	磁器	皿	(15.7)	2.6	(7.5)	—	50	普通	白	SD602	瀬戸美濃系 施釉・酸化コバルト染付 高台内墨書「油」	73-14
16	磁器	碗	(7.8)	6.0	(3.7)	—	25	良好	灰白	SD603	肥前系 施釉・染付	
17	磁器	碗	—	[1.9]	(4.0)	—	20	良好	白	SD603	瀬戸美濃系 施釉・染付 焼継痕・焼継印（赤）	
18	陶器	碗	—	[4.5]	(3.4)	DE	40	良好	灰白	SD603	京都信楽系 施釉 外面鉄絵・呉須絵	
19	陶器	皿	—	[2.1]	(11.4)	IK	10	良好	灰白	SD603	瀬戸美濃系 灰釉 外面緑釉掛分 内面鉄絵	
20	陶器	灯明皿	(9.8)	2.2	(4.9)	—	60	良好	灰白	SD603	瀬戸美濃系 灰釉 煤付着顕著	
21	陶器	灯明皿	(10.0)	1.8	5.4	DE	85	良好	灰白	SD603	瀬戸美濃系 柿釉 重焼痕	
22	陶器	徳利	—	[17.8]	—	K	50	良好	浅黄橙	SD603	瀬戸美濃系 外面灰釉 被熱	
23	陶器	香炉	(10.2)	(8.7)	(10.4)	IK	25	良好	灰白	SD603	瀬戸美濃系 外面緑釉・スタンプ文 被熱	
24	陶器	浅鉢	(5.6)	[14.0]	(12.2)	—	30	良好	灰白	SD603	瀬戸美濃系 灰釉 墨書「元タラ」	73-15
25	瓦質土器	火鉢	25.8	14.4	20.9	CEHK	60	普通	灰白	SD603	底部シワ状痕 内面火箸状痕 脚透孔 2 やや酸化炎焼成	
26	土師質土器	焙烙	33.0	5.4	33.2	CIK	65	普通	橙	SD603	砂目底 体部下位ケズリをナデ消し	



第 112 図　溝跡出土遺物（2）

第35表　溝跡出土遺物観察表（2）（第112図）

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	銅製品	煙管	長3.8 火皿径1.4 小口径1.1 重8.2	SD301	雁首	109-2
2	銅製品	煙管	長7.0 火皿径1.5 小口径1.0 重8.1	SD602	雁首	109-2
3	鉄製品	不明	鍬［10.7］横0.6 厚0.3 重46.4	SD603	釘付着	
4	銅製品	火箸	長18.1 厚0.5 重18.3	SD604		110-1
5	銅製品	銭貨	径28.1 厚1.2 重4.5	SD602	寛永通宝 四文銭（裏波）	
6	銅製品	銭貨	径23.5 厚0.9 重2.4	SD602	皇宋通宝	



第113図　溝跡出土遺物（3）

第36表　溝跡出土遺物観察表（3）（第113図）

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	木製品	天目台	口径（15.7）高2.9 底径（9.9）					SD603	内外面黒漆	101-15
2	石製品	砥石	［8.5］	5.1	1.0	［69.8］	流紋岩	SD603	激しく被熱 使用面4 多孔質石材	111-2
3	石製品	砥石	［10.8］	4.7	3.4	［236.8］	流紋岩	SD603	使用面2	111-2
4	石製品	砥石	［9.6］	5.2	3.8	［352.4］	流紋岩	SD603	被熱 使用面4	111-2
5	石製品	砥石	［5.3］	5.1	1.0	［47.0］	流紋岩	SD603	ノコギリ痕	111-2
6	硝子製品	笄	［2.2］	0.8	0.4	1.9	—	SD604	中実 黄色 断面楕円形	114-5

（11）焼土遺構

遺構内の壁が顕著に被熱した遺構を焼土遺構として扱う。第303・603号焼土遺構以外は壁がオーバーハングする。位置、規模等の基本的な情報は第37表に、遺構図は第114図にまとめた。

第301・302号焼土遺構（第114図）

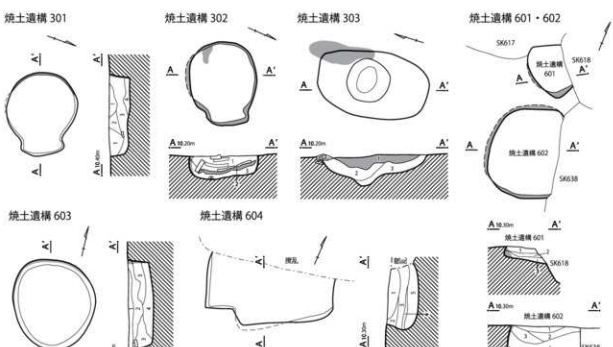
平面形態の前方が張り出し帆立貝形となる。第301号焼土遺構（C6-G4グリッド）は側壁が被熱し、第302号焼土遺構（C6-H4グリッド）は壁全面が被熱するが底面は被熱しない。栗橋宿跡第1地点の第1・2号焼土遺構と類似するが、規模はやや小型である。カマド状の施設と考えられるが、生産に関わる施設の可能性もある。第601～603号焼土遺構も、部分的ではあるが、同じような遺構の一部と考えられる。

第303号焼土遺構（第114図）

C6-H4グリッドで検出された。平面形態が楕円形の遺構である。北東壁部が被熱する。カマ

第37表　第一面焼土遺構一覧表　単位：m

番号	グリッド	長さ	幅	深さ	主軸方向	備考
301	C6-G4	0.65	0.56	0.16	N-70°-E	壁被熱やや弱い
302	C6-H4	0.67	0.53	0.18	N-65°-E	SK638より新
303	C6-H4	0.88	0.53	0.25	N-20°-W	
601	C6-J8	0.40	0.28	0.10	—	SK618より古
602	C6-J8	0.70	0.55	0.28	—	SK638より古
603	D6-A8	0.71	0.65	0.20	N-15°-W	
604	C6-J8	1.00	0.48	0.24	—	



第 301 号焼土遺構
1　灰褐色土　　焼土小ブロック（φ0.5 ～ 1.2 ㎝）混入　後世の撹乱か
2　暗黄褐色土　炭化物（φ3 ～ 5 ㎜）微量
3　黄灰色土　　シルト質土・焼土ブロック（φ0.8 ～ 1.8 ㎝）混入
4　灰黄褐色土　シルト質　焼土（φ8 ㎜）微量

第 302 号焼土遺構
1　黄褐色土　　焼土混入　瓦多量
2　黒色土　　有機物・炭化物が圧縮された層
3　黄灰色土　　焼土混入　砂粒多量

第 303 号焼土遺構
1　赤褐色土　　焼土ブロック　炭化材（φ2 ～ 3 ㎝）含む
2　暗赤褐色土　焼土 4 割層
3　暗褐色土　　焼土粒子（φ0.5 ～ 1 ㎝）混入

第 601 号焼土遺構
1　暗黄褐色土　焼土ブロック（φ1 ～ 1.5 ㎝）含む　しまり強
2　灰黄色土　　炭化物（φ2 ～ 3 ㎜）少量　しまり強
3　黒色土　　炭化物層

第 602 号焼土遺構
1　暗黄褐色土　黄色粘土微量　しまり強
2　灰褐色土　　炭化物（φ4 ～ 5 ㎜）・焼土（φ3 ～ 5 ㎜）微量　しまり強
3　灰黄褐色土　炭化物（φ3 ～ 4 ㎜）微量　しまり強　粘性弱
4　褐灰色土　　炭化物（φ0.3 ～ 1.2 ㎝）・焼土（φ3 ～ 5 ㎜）微量　しまり強
5　黒色土　　ザクザクした印象の土　炭化物層
6　暗赤褐色土　焼土多量　火を受けた層　しまり極めて強
7　灰黄色土　　炭化物（φ3 ～ 5 ㎜）微量　しまりあり

第 603 号焼土遺構
1　褐色土　　しまり強
2　褐色土＋焼土　ザクザクした印象の土　褐色土：焼土（7:3）　炭化物多量
3　褐灰色土　　炭化物（φ3 ～ 7 ㎜）多量　しまり強
4　灰黄褐色土　灰色粘土混入　粘性あり

第 604 号焼土遺構
1　灰黒色土　　木片少量　後世の撹乱か　しまり強
2　灰褐色土　　炭化物（φ3 ～ 7 ㎜）少量　しまり強
3　褐灰色土　　炭化物多量　焼土（φ0.5 ～ 1 ㎝）混入　しまり強
4　黒色土　　ザクザクした印象の土　炭化物層
5　暗灰色土　　炭化物（φ0.5 ～ 1.5 ㎝）多量　しまり強　粘性弱

第 114 図　焼土遺構

第 115 図　焼土遺構出土遺物

ド状遺構の基部が残存したものと考えられる。

第604号焼土遺構（第114図）

C6-J8グリッドに位置する。平面形が不整方形であり、北側は撹乱によりほとんど遺存していない。壁面は少しオーバーハングし、炭層（第114図第4層）より上部の南壁が被熱している。平面形態を想定し難いが、やはりカマド状遺構の残存部と考えられる。

第 38 表　焼土遺構出土遺物観察表（第 115 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	縄文	鉢	－	[2.7]	(3.3)	－	10	良好	白	焼土遺構 602	瀬戸美濃系　施釉・色絵（赤・黄）	48-10
2	鉄製品	火箸	長 11.2　厚 0.3　重 20.9							焼土遺構 603		

(12) 土壙

土壙は174基が検出された。位置、規模等の基本的な情報は第39表に、遺構図は第116～134図・223図に示す。

第301号土壙（第125図）

調査区北部のC６-H５グリッドから検出された、長軸7.05mの長大な土壙である。調査時の断面観察では第302号土壙を掘り込んでいると捉えられたが、出土陶磁器の組成は、明らかに第302号土壙より古い。陶磁器からは、第301号土壙が19世紀前葉、第302号土壙が19世紀中葉の遺構と考えられる。主軸方向はN-21°-Wである。焼土ブロックや壁土材、瓦片を多量に含み、火災処理に関わる土壙と考えられる。

興味深いのは、第301号土壙の陶磁器が、第308・311・312号土壙の出土陶磁器と顕著に接合する点である。これらの遺構も、焼土ブロックや被熱した壁土材・瓦を多量に含んでいる。土壙の重複関係が無いことから、同一時期の火災処理に伴って構築されたものと捉えられる。第135～147図には、これらの接合資料を中心に掲載する。接合関係については第40表に示す。肥前系磁器類では揃いの碗・皿がいくつか認められる。６～８、10～12、15～21は広東碗とこれに伴う蓋で、７個体以上と想定される。ただし、絵付けの細部が異なるものがあり、正確には２組分の可能性がある。50～52は底部に「筒江」銘款を有する皿で３個体分があり、激しく被熱する。53～62は蛇の目状高台の皿で６個体分である。66～71は高い蛇の目状高台を持つ皿で、９～10個体分がある。やはり細部の絵付けに差があり、２組分の可能性がある。83は型紙摺絵の変形小皿で図示した以外にもう１個体分の破片が確認される。86～97は、器高の高い特徴的な鉢と蓋で、６個体分がある。114～116は段重で、色絵と染付による絵付けが認められる。僅かに瀬戸美濃系磁器の薄手の端反碗（28）がある。また、清朝磁器碗（29）が１点伴っている。磁器に比較して、陶器類は極めて少ない。139は外面に剥離性のある白色不透明釉を掛けられるが内面は露胎とする。やや施釉土器質である。器種は詳らかでは無い。140～148は備前系の小形擂鉢で、擂目はほとんど減っていない。図示した９個体分と想定される。155・156も備前系の徳利で、156は底部に刻印がある。168は細いイッチンで絵付けされる炻器質の土瓶で、やや赤みを帯びる色調である。直接接合しない破片から図上復元している。167の蓋が伴う。166の蓋は両手鍋の蓋と考えられ、第302号土壙からの混入と考えられる。他にも型紙摺絵の平碗等、後世の混入と考えられる陶磁器があるが、その量は極めて少ない。土器類は陶器よりさらに少ない。171は、栗橋宿跡では多く出土する輪高台の脚が付く火鉢である。内面に「カか」と墨書される。178～186はかわらけで、このうち178・179が手づくね成形である。185・186は被熱して変形・変色する。第301号土壙の陶磁器破片数の比率は、磁器が約74%、陶器21%、土器は５%に過ぎない（第94表参照）。遺物から19世紀第１四半期後半頃の遺構と考えられ、この頃の火災との関連が注目される。この他、炭化した繊維製品227.5ｇが出土している。

第307・308号土壙（第116図）

Ｃ６-Ｆ３、Ｇ３グリッドから検出された隅丸長方形の土壙で、主軸方向は第307号土壙がN-19°-W、第308号土壙がN-77°-Eを指す。いずれも覆土に多くの焼土、被熱した瓦塊を含む。第301・311・312号土壙と陶磁器の接合関係が顕著だが、第307号土壙では陶磁器の出土が少なかった。なお、モルタル破片が１点出土しているが、後世の混在と考えられる。第186図７～10に出土した軒桟瓦を示す。二種の軒文様が確認される。10は第308号土壙の菊丸瓦である。第222図に示したのは、第307号土壙から出土した練墨で炭化

第39表　第一面土壙一覧表　　単位：長・短軸m　深さcm

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考
301	C6-H5	隅丸長方形	7.05	1.49	61	SK304/19/05 より新
302	C6-H5	不整長方形	(2.62)	(0.77)	38	SK303 より古 304/05 より新
303	C6-H5	隅丸長方形	(1.47)	1.35	40	SK301/04/05/20 より新
304	C6-H5	楕円形	(1.78)	1.60	49	SK301～03 より古
305	C6-H5	隅丸長方形	0.80	(0.40)	43	SK301・03 より古
306	C6-G6/7	隅丸長方形	1.75	0.87	24	
307	C6-F3, G3	隅丸長方形	2.35	1.14	49	SE307a より古
308	C6-F3, G3	隅丸長方形	4.02	1.72	42	SK307a より古 SK309 より新
309	C6-G3	隅丸長方形	(1.59)	1.01	10	SK308/SE307a より古
310	C6-F4	不整形	1.74	1.40	64	
311	C6-F4	隅丸長方形	(2.28)	1.58	121	SK313 より新
312	C6-F4	不整長方形	(2.40)	1.55	118	SK313 より新
313	C6-F4	不整長方形	(1.73)	1.35	78	SK311/12 より古
314	C6-G5, H5	隅丸長方形	6.88	(1.12)	94	SK318 より新
315	C6-G5	不整形	(2.23)	0.75	35	
316	C6-G5	不整形	2.07	1.75	26	
317	C6-G5	楕円形	0.71	0.54	20	
318	C6-G5	隅丸長方形	0.80	0.72	60	SK314 より古
319	C6-H5	楕円形	0.50	(0.36)	31	SK301 より古
320	C6-H5	不整長方形	0.65	(0.29)	26	SK303 より古
321	C6-G4/5	楕円形	(0.88)	0.74	40	
322	C6-H4	隅丸長方形	1.14	0.75	16	
323	C6-H4	楕円形	1.27	(0.86)	44	SK383 より新 SB305 より古
325	C6-G4	楕円形	0.84	0.67	6	
326	C6-H4	不整楕円形	(1.95)	1.23	40	SK371/ 基礎 311 より新 SB305 より古
327	C6-F4	不明	1.16	(0.87)	39	
328	C6-G4, H4	楕円形	1.40	1.04	13	SB305/07b より新
329	C6-G3	楕円形	0.87	0.68	18	
330	C6-H5	楕円形	1.70	1.18	17	SK348 より新
332	C6-H5	楕円形	0.98	0.72	48	SK378 より新
333	C6-H5	楕円形	1.22	1.01	33	
334	C6-G4	楕円形	0.72	0.57	15	
335	C6-G4	不整楕円形	(1.42)	1.25	26	基礎 316 より古
336	C6-G4	不整形	1.73	1.00	33	
337	C6-G5, H5	円形	0.75	0.69	20	
338	C6-G6	隅丸長方形	2.89	1.23	28	
339	C6-G6	隅丸長方形	2.38	0.69	63	SB304 より古
340	C6-H6, G6/6	不整楕円形	3.71	1.41	38	SK344 より新
341	C6-G4/5	楕円形	2.94	1.77	56	
342	C6-G5	隅丸長方形	1.56	0.75	27	
343	C6-G5/6	隅丸長方形	5.63	1.53	70	SK511 より古
344	C6-F5, G5	不整長方形	1.45	1.20	68	SK340 より古
345	C6-G6	楕円形	2.57	1.95	78	
347	C6-G6	円形	1.85	1.69	20	SE302/SK357/58 より新
348	C6-G5	楕円形	1.52	0.95	23	SK330 より古
349	C6-H4	円形	0.74	0.60	21	SB308 より新
351	C6-G6	円形	0.84	0.78	18	SB304 より古
352	C6-G6	楕円形	0.74	0.58	27	
353	C6-G6	楕円形	1.64	0.97	31	
354	C6-G7	不整楕円形	0.75	0.67	28	SD301/SE304 より古
355	C6-G6	楕円形	1.80	0.72	30	SB304 より新
357	C6-G6	楕円形	(1.61)	1.37	26	SK358 より新 SK347 より古
358	C6-G6	楕円形	1.57	1.26	17	SK357 より古
359	C6-G4, H4	不整楕円形	(1.58)	(0.92)	10	SB305 より古
360	C6-G4/5	不整楕円形	3.23	2.66	208	SB307b/ 基礎 303 より古
361	C6-F4	隅丸長方形	(2.38)	0.84	56	
362	C6-F4/5	隅丸長方形	3.95	1.35	83	
363	C6-F5, G4/5	隅丸長方形	3.48	1.12	58	
364	C6-F5	隅丸長方形	1.20	0.86	56	
366	C6-G6/7	楕円形	1.70	1.22	29	
367	C6-G4	不整形	0.89	(0.72)	12	桶 321 より新
368	C6-G4	不整楕円形	(1.03)	(0.72)	15	SB307b より古
369	C6-G6	楕円形	0.95	0.80	18	SK370 より新
370	C6-G6	楕円形	1.39	(1.09)	42	桶 316/17 より新
371	C6-H4	不明	2.17	(0.40)	15	SK326 より古
372	C6-H4	楕円形	1.49	0.66	22	桶 308 より古
373	C6-H4	楕円形	1.77	1.14	20	SB308 より古
374	C6-G4	楕円形	1.19	0.89	13	
375	C6-G4	楕円形	1.10	0.81	15	
376	C6-G4	隅丸方形	1.17	1.04	35	
377	C6-H4	隅丸長方形	1.58	1.35	75	桶 306/09 より古 SK378 より新
378	C6-G4/5, H4	不整形	2.43	2.41	133	SB305/SK332 より古
379	C6-F6	不整形	1.69	1.57	30	SK380 より新 SK381 より古
380	C6-F6	楕円形	1.29	1.10	50	SK379 より古
381	C6-F6	不整楕円形	1.73	0.96	56	SK379 より新
382	C6-H4	不整形	1.74	(1.67)	60	焼土遺構 302 より古
383	C6-H4	不整楕円形	1.52	1.26	87	SB305/SK323 より古
384	C6-F5	不整楕円形	0.69	0.53	27	
385	C6-F5	円形	0.56	0.56	39	
386	C6-F4/5	不整長方形	0.60	(0.47)	10	
387	C6-G6	楕円形	2.32	1.81	26	
388	C6-G6	楕円形	1.23	0.85	21	
437	C6-I6	不整楕円形	1.47	1.22	6	
438	C6-J7	方形	1.07	(0.86)	50	
439	C6-I7	不整楕円形	2.30	(0.83)	35	SB314 より古
440	C6-I6/7	不整形	6.59	0.77	40	SK448 より新
441	C6-I6	長方形	1.64	0.81	25	
442	C6-I8	長方形	(4.90)	1.41	33	SK450/52 より新
443	C6-H7/8	不整方形	(5.32)	1.45	17	
444	C6-H7	隅丸長方形	1.08	0.64	50	
445a	C6-H7	隅丸長方形	(2.17)	0.81	28	SK446 より新
445b	C6-H7	隅丸長方形	3.23	1.36	41	
446	C6-H7	隅丸長方形	2.01	(0.90)	25	SK445a より新
447	C6-H7	不整方形	2.48	1.85	83	
448	C6-I6	長方形	2.08	1.23	18	SK440 より古
449	C6-I7	円形	0.77	0.72	33	SB314 より新
450	C6-I7/8	不整楕円形	4.84	2.85	88	SK442 より古
451	C6-I8	不整形	1.98	(1.83)	97	
452	C6-I8	隅丸長方形	(3.37)	(0.77)	22	SK442 より古
510	C6-H5/6	長方形	4.60	1.75	50	砂主体
511	C6-G5/6	隅丸長方形	4.95	2.49	87	SK343 より新 砂主体
512	C6-G5	楕円形	3.58	3.06	20	
601	C6-J7	長方形	3.32	1.23	104	
602	C6-I7, J7	長方形	4.05	0.84	82	SB602 より新
603	C6-I7, J7	長方形	3.82	1.05	70	SK604 より古
604	C6-J7	隅丸長方形	0.97	0.36	17	SK603 より新
605	D6-A7/8	不整方形	3.85	3.20	34	SK606a より新 SD601/02 より古
606a	D6-A8	隅丸長方形	(3.25)	2.22	77	SK605 より古
606b	D6-A8	隅丸長方形	0.92	0.65	30	
608	C6-I8	不整楕円形	1.80	1.30	50	
609	C6-I8, J7/8	隅丸長方形	2.59	0.80	17	
610	C6-J7/8	楕円形	1.60	0.96	30	
611	C6-I8	楕円形	2.07	1.04	35	
612	C6-J7	不整形	0.79	(0.39)	32	
613	C6-J7	楕円形	1.89	1.16	43	SB614/ 桶 601 より新
614	C6-J7	不整楕円形	2.35	1.29	33	SK613 より古
616	C6-J7	不整楕円形	1.91	(1.26)	32	SK617 より新

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考
617	C6-J7/8	不整楕円形	1.95	(1.56)	26	SK618 より古
618	C6-J8	不整楕円形	2.60	(1.28)	27	焼土遺構601より新
620	C6-J8	隅丸長方形	3.60	1.61	58	
621	D6-A8	不整楕円形	(4.05)	1.42	50	SK634/37/41/SD603より新
622	C6-J7	円形	0.65	0.54	10	
623	C6-J7	楕円形	1.64	0.98	28	
624	C6-J7	楕円形	0.97	0.69	28	
625	C6-J7	楕円形	3.36	1.15	22	
626	C6-J8	不整方形	1.25	(0.90)	34	
627	C6-J7/8	隅丸長方形	1.71	0.63	30	
628	C6-J7	楕円形	1.18	(0.96)	29	
629	C6-J7	楕円形	1.15	0.89	25	
630	D6-A7	円形	1.33	(0.82)	23	SK631/45 より新
631	D6-A7	楕円形	(1.68)	(0.75)	45	SK645 より新
632	C6-J7,D6-A7	楕円形	2.07	(1.82)	22	
634	D6-A8	不整形	0.77	(0.48)	40	SK637/41 より新 SK621 より古
635	D6-A7	楕円形	1.34	1.17	49	
637	D6-A8	隅丸長方形	0.88	(0.72)	47	SK641 より新 SK634/21 より古
638	C6-J8	隅丸長方形	(1.07)	0.65	38	焼土遺構602より新
639	C6-J8	不整楕円形	(1.00)	0.98	15	
640	C6-J8	不明	(1.53)	(0.65)	14	
641	D6-A8	隅丸長方形	2.32	1.03	25	SK621/34/37 より古
642	C6-J7,D6-A7	隅丸方形	1.23	1.16	20	
643	C6-J7	楕円形	0.56	0.46	17	
644a	C6-J7	長方形	2.61	(0.98)	18	SK758/桶601より古
644b	C6-J7	長方形	1.10	0.65	10	
645	D6-A7	不整長方形	(2.41)	1.95	29	SK630/31 より古
646	D6-A8	楕円形	1.55	0.73	10	

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考
647	D6-A8/9	隅丸長方形	5.20	1.30	45	
648	C6-J9	不整長方形	(4.22)	(0.82)	21	杭列601より新
649	D6-B8	楕円形	2.40	1.48	34	
650	D6-B8	不整楕円形	(1.04)	0.84	18	
651	D6-B8	不整楕円形	2.92	1.81	43	
652	C6-J8/9 D6-A8/9	隅丸方形	2.74	2.56	33	埋甕601より新
653	D6-A8, B8	隅丸長方形	1.11	0.54	46	
654	D6-B8	楕円形	1.93	1.49	32	
655	D6-B9	隅丸長方形	3.77	1.80	30	
656	C6-J9	楕円形	0.66	0.59	26	
657	D6-B9	隅丸方形	1.45	1.31	27	SB601/SK658より新
658	D6-B9	不整形	1.60	(1.20)	27	SB601より新
659	D6-B9	隅丸長方形	1.03	0.79	20	
660	D6-B9	不整形	2.15	1.75	35	
661	C6-J9	隅丸長方形	1.37	0.70	38	SE310より新
662	C6-J9	円形	0.65	0.57	30	SK663より新
663	C6-J9	隅丸方形	1.30	1.19	25	SK662より古
664	D6-B9/10	不整楕円形	2.25	(1.84)	47	
665	C6-J8, D6-A8	隅丸方形	0.80	0.65	7	
666	D6-A8	楕円形	1.84	1.15	43	
667	D6-B8	不整方形	2.48	1.96	20	桶613より古 桶620より新
668	C6-J9	不整楕円形	2.21	(0.98)	36	
670	D6-B9	隅丸長方形	2.15	0.75	64	SB605より古
671	D6-A9, B9	隅丸長方形	3.08	1.08	22	SB605より新
672	D6-B10	円形	0.86	0.79	23	
673	D6-B9	楕円形	1.33	1.03	35	
674	D6-A10	不明	0.37	0.14	22	SK675より古
675	D6-A10	不整楕円形	0.80	0.32	17	SK674より新
758	C6-J7	不整形	(0.83)	(0.80)	0.20	

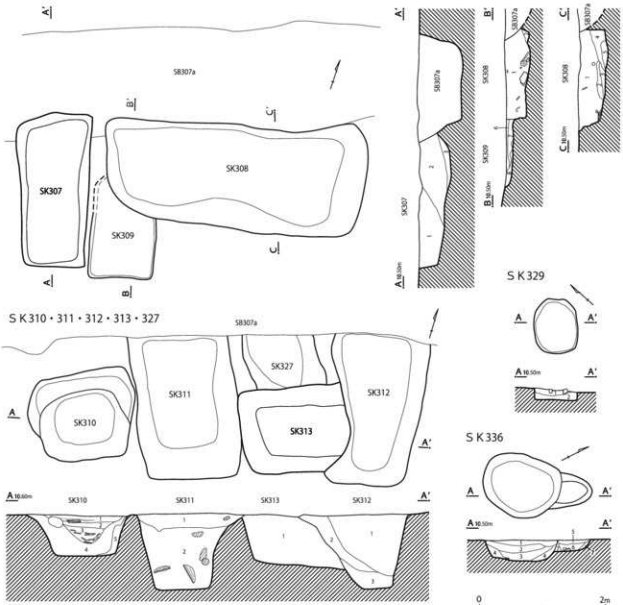
している。1は各面に陽刻状の松樹模様と文字が、2は陰刻状の文字が認められる。

第310号土壙（第116図）

C6-F4グリッドに位置し、第311号土壙に近接するが重複関係は無い。覆土上層に焼土、下層に砂が堆積する。開口状態で下部の砂層（第116図4・5層）が堆積し、その後、焼土・瓦等で上層を埋め戻したものと考えられる。遺物は少なく、陶磁器は肥前系磁器皿、猪口等僅かだが、このうち1点が第308号土壙の遺物と接合した。従って、上層は、第301号土壙等と同時期の火災処理に伴い埋め戻されたと想定される。第220図3に焼けた壁土材を図示した。

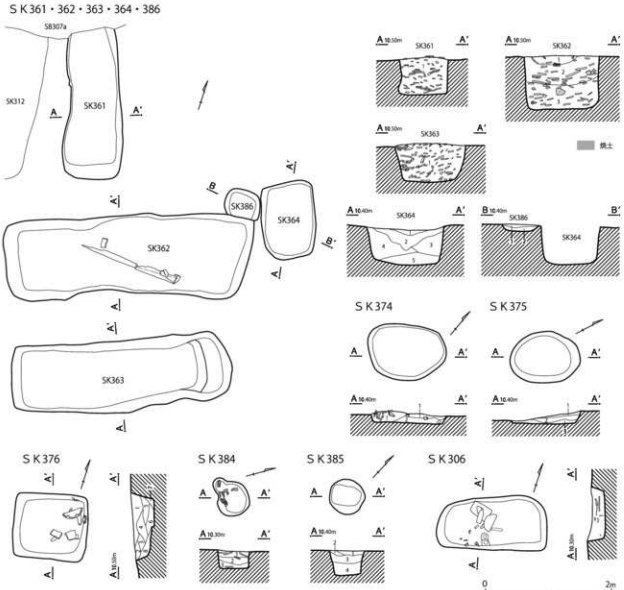
第311・312号土壙（第116図）

C6-F4グリッドで、東西に並ぶように検出された隅丸長方形の土壙で、主軸方向は第311号土壙がN-23°-W、第312号土壙がN-12°-Wである。多量の瓦と焼土を含み、第301号土壙同様に火災処理に関わる遺構である。陶磁器は第301・308号土壙と多く接合したが、第148図に示す陶器徳利は第308・311号土壙間でのみ接合した。図示した13個体で、出土した徳利破片のほぼ全てが接合している。今回の調査で、まとまって徳利が出土した唯一の例である。第186・187図11～15は軒桟瓦である。14の同文が、同じく火災処理に係る第307号土壙の7に認められる。第210図11～38は金属製品である。11・12は第311号土壙出土の錠前と輪金具である。後者は灯火具の燭台部分であろう。17～38が第312号土壙の遺物で、17は3つのパーツから成る襖等の把手金具である。18～21のような薄手小形の飾金具も多く出土した。24～34は銅製品の器物で、24～27が口縁部、28～31は「凸」字状断面の中帯が付く体部片である。第214図6～8は銭貨で、7に示した南鐐二朱銀も出土した。第217図48は石製焜炉である。被熱し細かく割れていたが、両土壙の



第 307 号土壙
1　黒色土　　焼土（φ 3 ～ 5 ㎝）・焼けた瓦・炭化材多量
2　暗褐色土　大破片の瓦や壁土（φ 8 ～ 10 ㎝）多量
3　褐色土　　シルト質土
第 308・309 号土壙
1　暗褐色土　炭化材（φ 2 ～ 6 ㎝）・焼土（φ 1 ～ 3 ㎝）・壁土ブロック（φ 5 ～ 10 ㎝）多量　瓦極めて多量　(SK308)
2　黄灰色砂　(SK308)
3　褐色土　　シルト混じりの層　瓦若干出土　(SK308)
4　灰色粘土　砂混入、瓦若干出土　(SK308)
5　黒灰色砂　焼土（φ 3 ～ 10 ㎜）若干混入　瓦若干出土　(SK308)
6　褐色土　　(SK309)
7　砂　　(SK309)
8　暗褐色土　陶器片出土　(SK309)
第 310 号土壙
1　焼土　　中間に灰炭の層含む　瓦片・壁土塊混入
2　砂　　サラサラで崩れやすい　上面に石（20×30 ㎝）あり
3　砂　　瓦片多量
4　砂　　2 層に比し若干しまり良い
5　黄褐色土　立ち上がりの壁に近い土　全体的に砂含む　しまり強
第 311 号土壙
1　焼土　　大量の炭化物混入　瓦を若干含む
2　褐土瓦層　瓦（9 割）　焼土（1 割）　炭化した木材や桶の底板を含む　陶磁器若干出土
第 312 号土壙
1　褐土瓦層　瓦（9 割）　焼土（1 割）　炭化物混入
2　褐瓦層　焼土及び炭化物の層（7 割）　瓦（3 割）
3　砂　　部分的にシルト質の粘土混入
第 313 号土壙
1　砂　　瓦片が数点出土している他は出土遺物なし　砂が一気に埋まったか
第 329 号土壙
1　暗褐色土　壁土片が焼けたもの　炭化物（φ 1 ～ 1.5 ㎝）多量
2　灰褐色土　炭化物（φ 8 ㎜）微量　しまり強
第 336 号土壙
1　黄灰色土　シルト含む　炭化物（φ 約 2 ㎝）・焼土（φ 1 ～ 2 ㎝）微量　基礎か　しまり強
2　灰褐色土　炭化物（φ 2 ～ 3 ㎝）多量　焼けた壁土混入　しまり強
3　暗褐色土　シルト含む　炭化物（φ 0.5 ～ 1 ㎝）微量　しまり強
4　褐灰色土　焼けた壁土（φ 2 ～ 3 ㎝）混入　しまり強
5　褐色土　　炭化物（φ 5 ～ 8 ㎜）少量
6　暗褐色土　炭化物（φ 1 ～ 1.5 ㎝）・焼土（φ 1 ～ 1.5 ㎝）微量　瓦片出土
7　暗黄褐色土　炭化物（φ 8 ㎜）・焼土（φ 5 ㎜）少量　しまり強

第 116 図　土壙（1）



第361号土壙
1　混灰土層　　一気に埋められた層　瓦の混入は６～７割　焼土及び炭化物が入り混じる　壁土の小ブロック（φ２～３cm）若干含む　炭化材（径３～４cm×長さ10～20cm）混入

第362号土壙
1　混灰炭化物層　炭化物（８割）焼土（２割）瓦の量は少なく破片も小ぶり
2　混灰焼土層　　壁土のブロック含む　焼土７割　大型瓦片多量　上面に掻痕のくず混入
3　混灰土層（暗褐色土）　焼土等の割合少ない　炭化した建築材、径20～30cm大の礫等を含む

第363号土壙
1　混灰土層　　一気に埋められた土　瓦の混入７～８割　壁土が焼土化したもの（φ３～５cm）多く全体に混じる　炭化材の細片も全体に混じる

第364号土壙
1　暗褐色砂　　砂の減層
2　褐色砂　　粘土質の土（φ３～６cm）がブロック状に混じる
3　灰黒色砂　　砂の減層
4　黒色砂　　砂の減層
5　褐灰色土　　シルト含む　焼土（φ５～15mm）混入　粘性あり

第374号土壙
1　暗褐色土　　瓦片多量　しまり強
2　褐灰色土　　礫若干含む　瓦の出土なし　しまり強

第375号土壙
1　灰褐色土　　焼土（φ1.5～２cm）混入　しまり強
2　暗黄褐色土　　炭化物（φ５～８mm）若干混入　焼土（φ0.8～１cm）多量　しまり強
3　褐灰色土　　シルト混入　炭化物（φ８mm）微量　しまり強

第376号土壙
1　暗黄褐色土　焼土（φ３～５mm）微量　しまり強　遺物ほとんど含まない
2　黄褐色土　　粘土質　しまり極めて強
3　褐色土　　若干しまりあり　粘性なし　遺物はほとんど含まない
4　褐色砂　　砂の減層　軟らかく崩れやすい
5　暗褐色土　　炭化物（φ５～10mm）多量　しまりやや強　やや粘性あり
6　褐灰色土　　比較的軟らかい　やや粘性あり　下部に板状木製品出土　焼成出土
7　灰褐色土　　しまりやや強　中鉢等の陶器片出土
8　暗褐色土　　炭化物（φ１～1.2cm）多量　しまり強　鉄製品・香炉・瓦片等出土

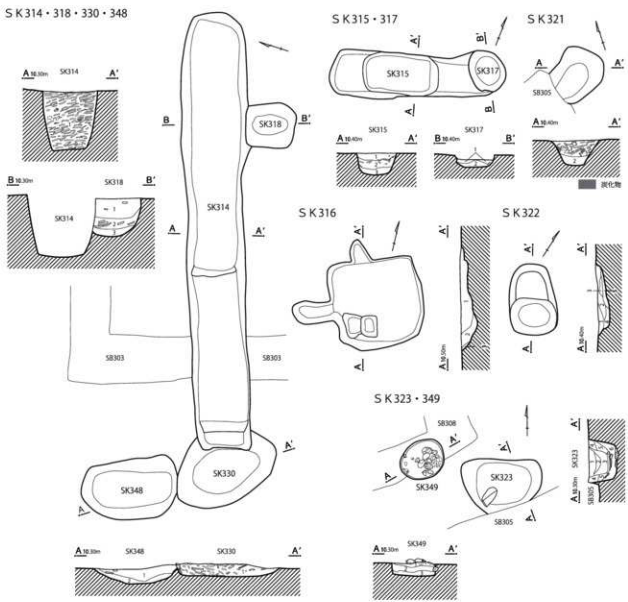
第384号土壙
1　灰褐色土　　炭化物（φ５mm）・焼土（φ0.8～１cm）・瓦片多量　しまりやや弱
2　暗褐色土　　炭化物（φ１～２cm）多量　しまりやや弱
3　褐灰色土　　砂質　瓦片若干混入　しまり強

第385号土壙
1　暗褐色土　　焼土（φ５～15mm）多量　しまり強
2　褐色土　　焼土をほとんど含まない　しまり強
3　褐灰色土　　炭化物（φ８～10mm）若干混入　しまり強
4　暗黄褐色土　炭化物（φ９mm）微量　砂多量　しまり強

第386号土壙
1　灰褐色土　　炭化物（φ５～８mm）多量　焼土（φ１cm位）若干混入　しまり強
2　褐灰色土　　炭化物（φ８mm位）微量　しまり強

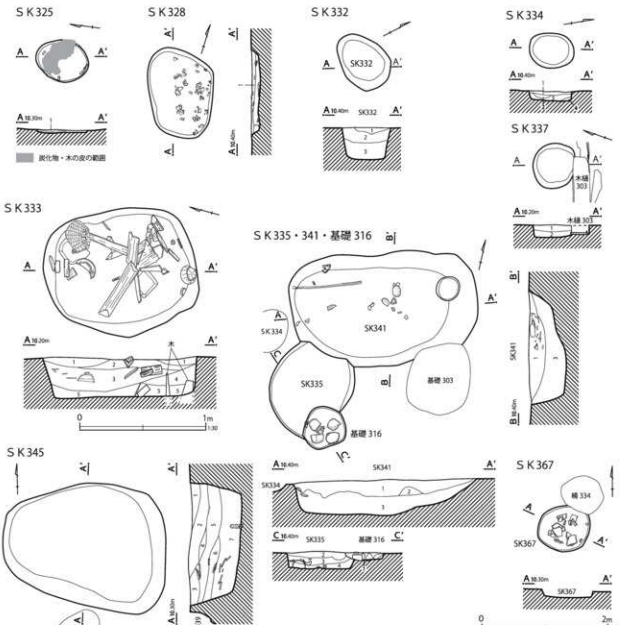
第306号土壙
1　暗褐色土　　木片多量　瓜の種子が出土　しまり弱

第117図　土壙（２）



第314号土壙
1　混土瓦層　赤化した焼土と瓦片（数cm～20数cm）主体
第315号土壙
1　褐色土　炭化物（長1～2cm、幅1cm）・焼土（φ1～1.5cm）多量
2　赤褐色土　焼土約3割混入　瓦片多量
3　暗黄褐色土　砂多量　焼土（φ5～7mm）若干混入
第316号土壙
1　暗赤褐色土　灰色シルトブロック（φ2～3cm）・炭化物（長1～2cm、幅1cm）・焼土（φ2～3cm）多量　瓦片含む　埋め戻し　しまり・粘性ややあり
2　赤褐色土　灰色シルト（φ3cm）・炭化物（長1cm）・焼土ブロック（φ2cm）含む　しまりやや強
3　灰褐色土　シルト　炭化物・焼土ブロック（φ1cm）含む　しまりやや強
第317号土壙
1　暗褐色土　7割強が炭化物と焼土　桶状のものが埋まっていたように思えるが根跡なし
2　暗黄褐色土　シルト含む　炭化物・焼土微量　しまり強
第318号土壙
1　灰褐色土　シルト質　炭化物（φ2～5mm）含む　しまりあり　粘性弱
2　暗灰色土　粘質　炭化物（φ5mm）微量　瓦を含む　しまり弱　粘性あり
3　灰色土　焼土ブロック（φ2～3cm）・砂多量　しまり弱
第321号土壙
1　暗褐色土　混土瓦層　北西隅に炭化物が集中
2　暗黄褐色土　砂粒少量　焼土（φ3～6mm）混入　しまり強
第322号土壙
1　暗褐色土　焼土混入層　炭化物多量　瓦片若干出土
2　暗褐色土　シルト含む　焼土（φ5～7mm）微量　瓦片若干出土
3　黄褐色土　砂を多く含む
4　暗灰色砂　炭化物（φ3～5mm）・焼土（φ3～5mm）微量
5　黄褐色砂　固くしまっている
第323号土壙
1　暗褐色土　焼土がブロック状に混入　炭化物多量　上面に瓦片混入
2　灰褐色土　焼土は1層より少量　小石や瓦含む　しまり極めて強
3　褐色土　炭化物（φ7～8mm）・焼土（φ0.5～1cm）微量　しまり弱
4　黄褐色土　シルト質　しまり強
5　黄褐色砂　下面に瓦片や小石多量
6　灰褐色土　シルト含む　底面に瓦や木材多量　しまり強
第330号土壙
1　暗褐色土　混土瓦層　焼土・焼けた壁土混入　底面に陶器少量出土
第348号土壙
1　灰褐色土　炭化物（φ0.5～1.1cm）・焼土（φ3cm）・瓦多量　粘性なし
2　灰黄褐色土　炭化物（φ1cm位）少量　ほぼ無遺物層　粘性あり
第349号土壙
1　暗褐色土　蛤を多く含む　上面に廂2個出土
2　黄灰色土　砂多量　下部に鉄分が沈着　しまり極めて強
3　褐灰色土　木の小片混入　しまり弱

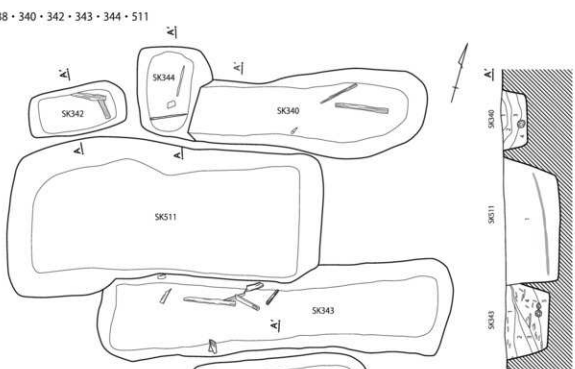
第118図　土壙（3）

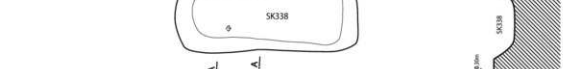


第325号土壙
1　暗黄褐色土　上部に砂多し　ほとんど底面のみ　櫛状の部分が遺存
第328号土壙
1　暗褐色土　焼土・瓦片多量
2　褐色砂層　焼土（φ1～1.5cm）少量　しまり強
第332号土壙
1　灰褐色土　炭化物、腐食木片含む　上面にシジミ貝含む　しまりやや強
2　黄灰色土　炭化物（φ5～8m）少量　瓦片・陶器出土　しまり強
3　灰黒色土　炭化物（φ2～5m）微量　瓦片含む　しまり弱
第333号土壙
1　灰黒色土　炭化物（φ3～12m）・焼土（φ2～3m）多量　しまり強
2　褐灰色土　シルト混入　炭化物（φ0.8～1.2cm）微量　木材多量　しまり強
3　灰褐色土　炭化物（φ2～3m）少量　砂混入　木材多量　粘性弱
4　灰黄色土　砂微量　この層より黒灰出土　粘性あり
5　黒灰色土　シルト含む　炭化物（φ3～7m）少量　粘性あり
第334号土壙
1　灰黄褐色土　炭化物が薄い帯状に入る
2　褐色土　シルト質　小石混入
3　灰褐色土　シルト混入　粘性弱
4　黒灰色土　炭化物（φ3～5m）微量　粘性弱
第335号土壙・基礎316
1　灰褐色土　10×15cm・10×20cmの石を敷いて固めている　しまり強（基礎316）
2　灰黒色土　炭化物多量　(SK335)
3　灰黄褐色土　炭化粘土ブロック・炭化物若干混入　しまり強　(SK335)
4　暗灰色土　炭化物・陶磁器片及び木材（丸材）混入　しまり強　(SK335)
第337号土壙
1　灰黒色土　炭化物（φ5～8m）多量　しまり強
2　灰褐色土　焼土（φ5～6m）微量　しまり強
第341号土壙
1　褐色土　瓦片・木片多量　B-B'にかかる石の周囲は建物の基礎かしまり弱
2　褐灰色土　砂質　木片を若干含む
3　灰褐色土　砂質　炭化物（φ0.8～1.2cm）を若干含む　西側より灯明皿出土　他の遺物はほとんど出土していない
第345号土壙
1　褐色砂　SK345の周囲に薄く堆積
2　明褐色土　砂混入　炭化物（φ1.5～2cm）・焼土（φ0.5～1.5cm）・瓦多量
3　明褐色土　砂をほとんど含まない
4　黒灰色粘土　瓦混じらず　粘性あり
5　暗灰色土　炭化物（φ1.5～2cm）・瓦多量　若干粘性あり
6　暗褐色土　瓦及び桶の部品等多量　若干粘性あり
7　灰褐色土　水が溜っている状態　木製品（桶の部品・下駄その他）・腐食した植物質多量　粘性あり

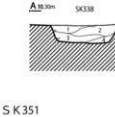
第119図　土壙（4）

S K 338・340・342・343・344・511

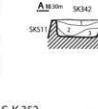




S K 351

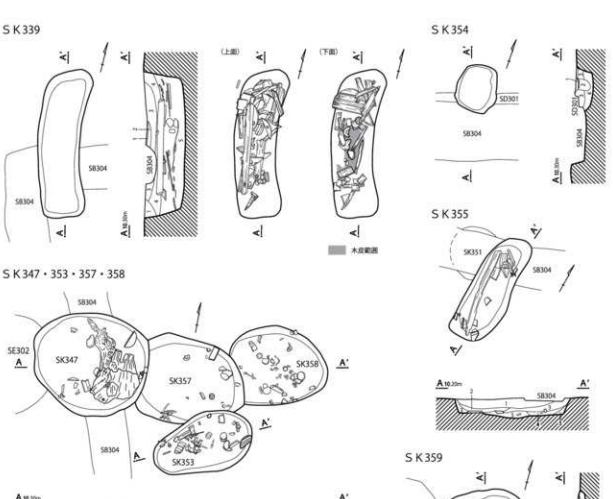


S K 352



第 338 号土壙
1　黒色土　　砂質　炭化物（φ1～2㎝）多量
2　明褐色土　炭化物（φ5～8㎜）多量　焼土（φ0.8～1.5㎝）若干含む
　　しまり強
3　灰褐色土　陶器少量出土　しまり強　粘性あり
4　暗黄褐色土　シルト質　炭化物（φ5～8㎜）微量
第 340 号土壙
1　褐色土　　シルト混入　炭化物（φ5～7㎜）微量　焼土（φ0.8～1.5㎝）
　　多量　大型瓦片多量　しまり強
2　明褐色土　シルト混入　炭化物（φ1.2㎝）微量　大型瓦片多量　しまり強
3　灰褐色土　シルト混入　下部に木片混入　大型瓦片多量　しまりやや弱
4　灰黄褐色土　シルト混入　壁材・瓦（大型破片）目立つ　底面に粘の痕が残る
第 342 号土壙
1　褐色土　　炭化物（φ5～7㎜）混入　瓦片多量　しまり強
2　暗褐色土　シルト混入　炭化物（φ0.7～1.2㎝）多量　しまり強
3　明褐色土　シルト混入　しまり強
第 343 号土壙
1　褐色土　　炭化物（φ8㎜）・焼土（φ約 0.1～1.5㎝）多量　全体に瓦を含む
　　しまり強
2　暗褐色土　炭化物（φ0.8～2㎝）多量　瓦はほとんど含まない　しまり強
3　灰黒色土　木質の小塊を多く含む　しまり強
4　灰褐色土　炭化材・瓦多量　特に大型瓦片多い　しまりやや強
5　黒灰色土　シルト質　しまり強
第 344 号土壙
1　褐色土　　シルト混入　炭化物（φ5～7㎜）微量　しまり強
2　褐灰色土　炭化物（φ8㎜）多量　焼土（φ5～6㎜）若干含む　しまり強
3　灰褐色土　炭化物（φ0.8～1.2㎝）多量　下部に瓦片や木片多量　しまり強
4　灰黄色粘土　砂を混じえる　粘性あり
第 351 号土壙
1　暗褐色土　SB304（小礫の基礎）に壊される　炭化物（φ0.1～1.5㎝）・
　　焼土（φ1.5～2㎝）多量　遺物出土あり　しまり強
2　褐色土　　鉄分含む　しまり強
3　灰黄褐色土　砂含む　若干粘性あり
4　灰色砂　　他の粒子等含まない
第 352 号土壙
1　暗褐色土　炭化物（φ5～8㎜）・焼土（φ0.5～1.5㎝）多量　しまり強
2　褐灰色土　シルト混じり　小木片多量
3　黒灰色土　シルト混じり　炭化物（φ5～6㎜）少量　瓦多量
4　灰色砂　　木片微量
第 511 号土壙
1　灰褐色砂　　砂の純別　シルトブロック混入

第 120 図　土壙（5）



第339号土壙
1　灰褐色土　　炭化物（φ5～8㎜）若干混入　しまり強
2　灰色砂　　部分的に混じる砂
3　褐灰色土　　下層に木質のものが集合した薄い層あり　しまり強
4　暗黄褐色土　炭化物（φ5～7㎜）若干混入　建材や桶などが多く廃棄されている　しまりやや強
5　暗褐色土　　小さな木片多量　建材や桶の蓋などが多く廃棄されている　しまりやや弱

第347号土壙
1　混土瓦層　　風倒木の根本に掘られた穴　瓦を廃棄している
2　灰褐色土　　倒木の周囲に堆積した土　遺物の出土なし　しまり強
3　灰黄褐色土　木片等少量　しまりやや弱

第353号土壙
1　灰黄褐色土　炭化物（φ0.5～1.5㎝）多量　黒褐斑木片出土　しまり強
2　暗褐色土　　木片多量　楕部材等出土　しまりやや弱
3　灰褐色土　　炭化物（φ5㎜）少量　陶器片出土　しまり強
4　褐灰色土　　黄褐色土の粒子混入　しまり強
5　灰黒色土　　腐植土主体　木材多量　しまりやや弱

第354号土壙
1　黒色土　　一面に炭化物が入るが薄い堆積
2　黒褐色土　　小木片多く腐食物多い
3　褐灰色土　　瓦片多量
4　灰褐色土　　炭化物（φ0.5～2㎝）混入　しまりやや強

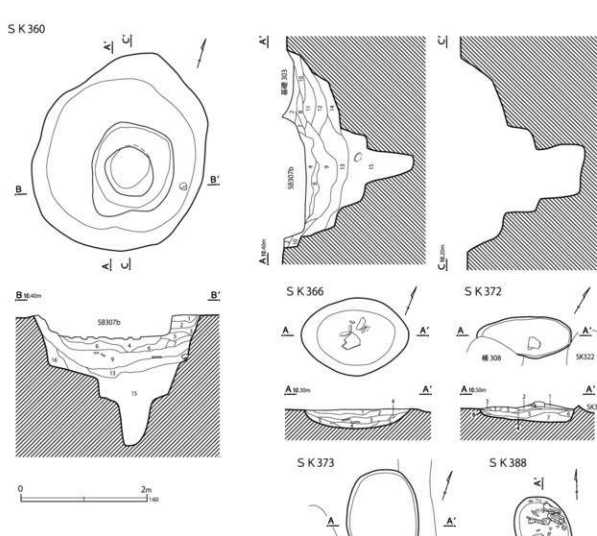
第355号土壙
1　灰黄色砂
2　褐色砂　　鉄分を含む　下面より瓦出土
3　褐灰色砂　　木片等多量　建築材出土
4　灰褐色砂　　木片等多量　建築材出土
5　暗黄褐色土　シルト混入　木片多量　若干粘性あり

第357号土壙
①　灰褐色土　　一部砂の小ブロック混入　下部に炭化物の薄層　しまり強
②　暗褐色土　　砂少量　木材片含む　しまり強
③　暗黄褐色土　シルト混じり　粘土ブロック（φ1～3㎝）含む
④　褐灰色土　　腐食木材片多量　粘性弱
⑤　灰褐色土　　砂多量　瓦片含む　材木片は含まない　しまり強

第358号土壙
1　灰色土　　砂混じりの粘土層　攪乱か
2　砂層　　周囲に分布する砂が入り込んだもの　攪乱か
3　灰黄褐色土　炭化物（φ3～5㎜）わずかに混じる　礫出土
4　褐灰色土　　木材のくず多量
5　黄灰色土　　炭化物（φ0.5～1㎝）微量　陶磁器中鉢出土　粘性弱

第359号土壙
1　灰褐色土　　薄い層状に炭化物が混入　上面より瓦若干出土
2　暗褐色土　　炭化物（φ5～8㎜）・焼土（φ1～2㎝）少量　しまりやや強

第121図　土壙（6）



第360号土壙
1 暗黄褐色土　炭化物（φ2～7㎜）微量　しまり強　粘性なし
2 黒褐色土　炭化物（φ0.8～1.2㎝）・焼土（φ0.5～1.5㎝）多量　しまり強
3 暗褐色土　ザラザラした印象の土　砂多量　シルト（φ2～3㎝）混入　焼土塊（φ2㎝前後）数カ所に混入
4 灰黄褐色土　焼土ブロック（φ2㎝）微量　SB307bの下部　しまり極めて強
5 灰褐色土　ザラザラした印象の土　炭化物（φ0.1～1.5㎝）・焼土（φ2㎝）・粘土ブロック（φ約1.5～3㎝）多量
6 黒色土　焼土（φ0.1～1.5㎝）・白色粒子（壁土かφ2～3㎜）微量　しまり強
7 褐色土　焼土（φ0.1～1.5㎝）8割強含む　しまり強
8 暗褐色土　焼土（φ0.5～1.5㎝）6割強含む　しまり強
9 黒褐色土　炭化物（φ0.5～1㎝）多量　白色の壁土（φ2～3㎝）ブロック状に含む　しまり強
10 暗褐色土　炭化物（φ5～8㎜）多量　シルト（φ0.1～1.5㎝）混入　しまり強
11 褐色土　焼土（φ0.7～1.5㎝）約5割混じる　しまり強
12 明褐色土　焼土（φ0.8～1㎝）・壁土の白色粒子微量　しまり強
13 暗褐色土　焼土（φ0.8～1㎝）3割強混入　竹・笹出土　しまり強
14 灰褐色土　炭化物（φ5～8㎜）微量　瓦片混入　しまり強　若干粘性あり
15 黒色土　ザラザラした印象の土　約9割強が炭化物（幅1㎝・長2～3㎝）　中間より北宗竹出土
16 褐灰色土　焼土（φ5～8㎜）微量　瓦片含む　しまり強

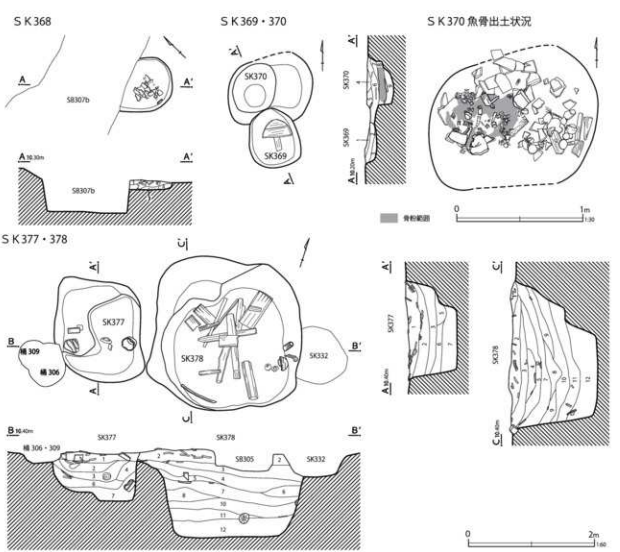
第366号土壙
1 灰黄褐色土　シルト混入　上面に瓦破片散布　しまり強
2 黄灰色土　貝殻細片少量　しまり強　粘性弱
3 褐灰色土　砂少量含む　瓦片含む　東側に植物質の繊維が混じる　しまり強
4 灰褐色砂　鉄分をわずかに含む
5 褐色砂　鉄分が滞留して褐色になった砂

第372号土壙
1 暗褐色土　炭化物（φ3～5㎜）微量　大谷石（10～20㎝×5㎝）含む　しまりやや強
2 赤褐色土　焼土の堆積　壁面はあまり焼けていない
3 褐灰色土　シルト混入　しまり強
4 黄褐色土　粒子粗い
5 褐灰色土　やや粘りのある土がブロック状に混じる
6 灰褐色土　炭化物（φ3～5㎜）微量　粘性弱
7 暗黄褐色土　小石混入　しまり強　粘性弱

第373号土壙
1 黒色土＋焼土　焼土ブロック約6割混じる　上面に瓦散布
2 焼土ブロックと炭の層　褐色土がブロック状に混じる　大型瓦片多量
3 褐灰色土　シルト混入　出土遺物なし　しまり強
4 灰黄褐色土　焼土（φ3～5㎜）微量　しまり強
5 黄灰色土　全体に腐食木材混入　下部に木質の薄層　しまり強

第388号土壙
1 灰褐色土　この面で木杭が確認できる　しまり強
2 褐灰色土　炭化物（φ2～3㎜）若干含む　しまり強　若干粘性あり
3 灰黄色砂　下部に薄く木質残る　しまり・粘性なし
4 黒褐色土　木質の部分が多く残る　やや粘性あり
5 灰褐色土　木質部の外側　瓦片出土　しまり強

第122図　土壙（7）



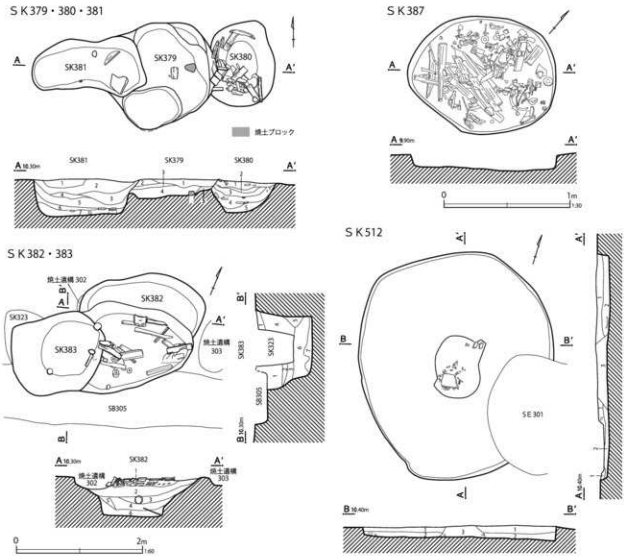
第368号土壙
1　褐灰色土　炭化物微量
2　暗黄褐色土　炭化物多量　瓦片が底なりあって出土　若干粘性あり
3　灰褐色土　砂多量　瓦の出土なし　しまり強
4　灰黒色砂　炭化物微量　しまり強
第369号・370号土壙
1　褐灰色土　腐食木質多量　しまり強　(SK369)
2　褐灰色土　砂質　瓦等若干出土　しまり強　(SK369)
3　暗褐色土　シルト混入　しまり強　(SK369)
4　灰褐色土　炭化物(φ5～8㎜)微量　しまり強　(SK370)
5　褐灰色土　下部に木質の堆積あり　陶器片若干混入
6　灰黒色土　炭化物(φ1～2㎝)・焼土ブロック(φ2～3㎝)混入　下部より木片及び竹出土　しまり強　(SK370)
7　暗黄灰色土　砂質　焼土(φ5～6㎜)混入　しまり強　(SK370)
8　黄褐色砂　魚骨を含む　底面周囲に鉄分沈着　しまりやや強　(SK370)
9　灰色砂　水分多し　魚骨の下部の層　しまりやや強　(SK370)
第377号土壙
1　褐色土　炭化物・焼土やや多量　上面には大小の瓦片多し
2　灰褐色土　瓦片は1層より少量　下部に炭化物の薄層　粘性弱
3　暗褐色土　炭化物・焼土を含む砂質ロームの層
4　灰黄色土　砂質　他のものをほとんど含まない
5　灰色砂　他のものをほとんど含まない
6　褐灰色土　シルト混入　粘性弱
7　暗黄褐色土　炭化物(φ3～7㎜)多量　火鉢出土　粘性あり
第378号土壙
1　焼土ブロック
2　灰黄色土　炭化物・焼土(φ1～2㎝)少量　瓦片多量　しまり強
3　暗灰黄色土　2層に比べ炭少量　焼土ブロック(径2～3㎝)混入
4　暗褐色土　ザクザクした印象の土　炭化物(φ1～1.5㎝)混入
5　褐灰色土　炭化物(φ0.7～2㎝)・焼土(φ1～1.5㎝)多量　瓦少量　しまり弱
6　灰褐色土　ザクザクした印象の土　焼土(φ1～2㎝)、砂多量
7　灰黄褐色土　シルト多量　炭化物(φ1～1㎝)・焼土(φ0.5～1.5㎝)微量　しまり強
8　暗褐色土　ザクザクした印象の土　炭化物多量
9　灰黄褐色土　焼土ブロック(φ2㎝)・瓦微量　しまり強
10　褐灰色土　炭化物少量　焼土ブロック(φ3～5㎝)多量　しまり強　粘性弱
11　暗褐色土　木材多量　陶器出土　しまり強　粘性弱
12　黒褐色土　ザクザクした印象の土　炭化材が主体

第123図　土壙（8）

破片が接合して図化個体となった。第220図4～6は焼けた壁土材で、第311号土壙のものを図示した。6は瓦を中心として被熱・溶着したものだが、多くの土砂も含む塊である。ほかに、第312号土壙から炭化した繊維製品83.0ｇが出土した。

第314号土壙（第118図）

Ｃ6-Ｇ5、Ｈ5グリッドに位置し、長さ7ｍ弱の長大な土壙である。主軸方向はN-71°-Eである。覆土は焼けた瓦を充填しており、火災処理に



第379号土壙
1　暗褐色土　径2～4cmのブロック状に焼土入る（約4割）炭化材（φ2～3cm）多量
2　焼土　9割以上が焼土　しまり極めて強
3　褐色土　炭化物（φ5～8mm）多量　焼土をほとんど混じえない
4　褐色土　約6割が焼土　焼土ブロック（φ3～7cm）多量　炭化材（φ1～3cm）混入
5　黄褐色土　砂多量　炭化物（φ5～7mm）若干混入

第380号土壙
1　褐色土　焼土ブロック（φ1～3cm）混入　瓦片多量　しまり強
2　暗褐色土　炭化物（φ1～2cm）若干混入
3　灰褐色土　シルト混入　炭化物（φ1～2cm）微量　しまり強
4　暗褐色土　瓦片・木材多量　しまりやや弱
5　灰黄褐色土　砂少量　やや粘性あり

第381号土壙
1　黄色砂　下部に木質状のものが薄く堆積
2　褐色砂　炭化物（φ4～5mm）微量
3　暗褐色土　炭化物（φ5～8mm）多量　焼土（φ3～4cm）含む　しまりやや強
4　灰色砂　他のものをほとんど混じえない
5　暗褐色土　焼土ブロック（φ4cm）・炭化材（長約3cm）微量　若干粘性あり
6　赤褐色土　炭化材（長2～3cm）多量　粘性あり
7　暗褐色土　瓦片・板等出土　最下層より漆椀出土　粘性あり

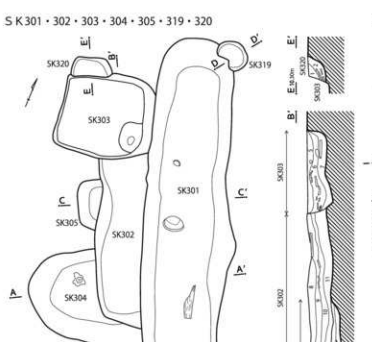
第382号土壙
1　暗褐色土　混土層　約8割が瓦
2　灰褐色土　炭化物（φ3～5mm）微量　瓦若干混入　しまりなし
3　灰黄褐色土　シルト（φ1.5～2cm）多く混入　漆椀出土
4　黒灰色土　木材片多量　しまり強
5　褐灰色土　砂質　炭化物（φ2～5mm）微量
6　暗黄褐色土　板材を含む　しまり強

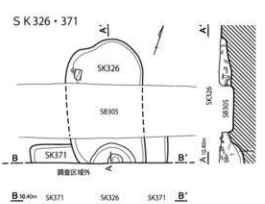
第383号土壙
1　褐色土　炭化物（φ2～5mm）少量　しまり弱
2　暗褐色土　漆喰の粉少量　粘性あり
3　褐灰色土　砂多く含む　しまり弱
4　赤褐色土　焼土ブロック（φ2～5cm）約7割含む
5　暗赤褐色土　焼土ブロック（φ2～6cm）約4割含む
6　黒褐色土　炭化物（φ0.7～1cm）、焼土（φ3～5mm）多量
7　灰黄褐色土　水分多し　粘性あり

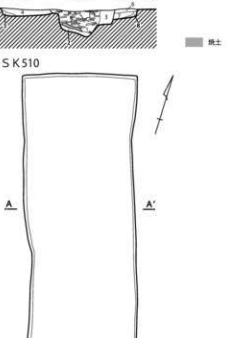
第512号土壙
1　暗褐色土　炭化物（φ5～8mm）・砂多量　焼土（φ3～5mm）微量
2　明褐色土　シルト混入　しまり弱
3　褐灰色土　何らかの建物に付随する基礎か　しまり極めて強

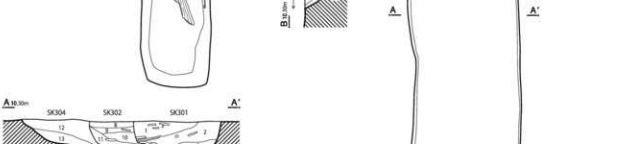
第124図　土壙（9）

係る土壙と考えられる。ただし、陶磁器は少なく、第301号土壙をはじめ、他の土壙との接合は認められなかった。陶磁器は第149・150図15～23に示す。17は外面青磁釉の磁器碗蓋、18は初期伊万里様式の小皿である。図示した以外に瀬戸美濃系磁器端反碗破片・瀬戸美濃系陶器柿釉瓶、





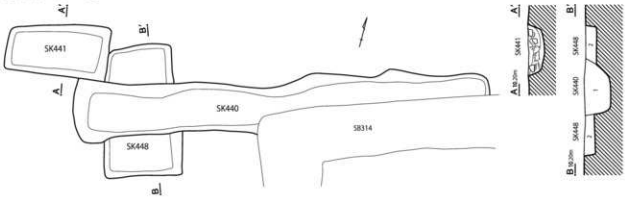




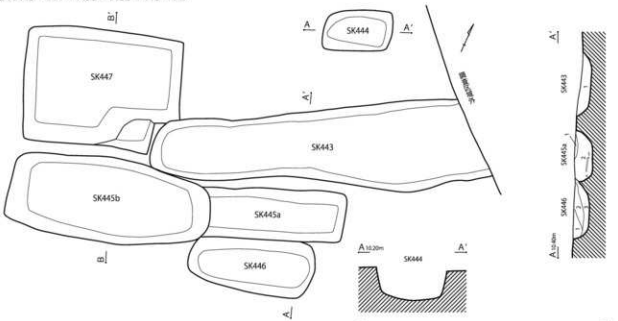
第 301・302・303・304 号土壙
1　暗赤褐色土　炭化物・焼土ブロック（壁土）・瓦片・陶磁器類多量　(SK301)
2　灰褐色土　シルト質　焼土ブロック（壁土）多量　瓦片は 1 層より少ない　(SK301)
3　灰褐色土　炭化物含む　焼土ブロック少量　瓦片多量　(SK301)
4　灰褐色土　砂質　焼土ブロック含む　しまりなし　粘性あり　(SK301)
5　灰色土　　離化鉄・小礫多量　ガラス片含む　上部撹乱あり　(SK303)
6　暗灰色土　砂質　焼土ブロック含む　瓦・陶磁器類多量　しまりあり　(SK303)
7　灰褐色土　砂質　離化鉄分多量　しまりあり　(SK303)
8　灰褐色土　シルト　炭化物（φ2～3 ㎜）・焼土粒子・離化鉄含む　しまりあり　(SK302)
9　暗灰褐色土　シルト　炭化物多量　瓦片・陶磁器類含む　しまりあり　(SK302)
10　灰色土　　砂質　大粒の砂（鉄さび色）多量　しまりなし　(SK302)
11　暗灰色土　砂質　炭化物・焼土ブロック含む　しまりあり　(SK302)
12　灰褐色土　シルト　焼土ブロック・鉄分・瓦片多量　炭化物は風化せず　しまり強　(SK304)
13　灰色土　　シルト　炭化物大片多量　鉄分少量　炭化物は風化せず　しまり強　(SK304)
14　灰色土　　シルト　炭化物含む　炭化物は風化せず　しまり強　(SK304)
第 305 号土壙
1　褐灰色土　焼土（φ1～1.5 ㎝）多量　しまり強
2　灰褐色土　焼土（φ5～6 ㎜）若干混入　しまり強
3　暗褐色土　ぐずぐずの土　木片多量
4　灰黒色土　しまり強　若干粘性あり
第 319 号土壙
1　灰褐色土　炭化物粒（φ8 ㎜）多量　遺物ほとんどなし　しまりあり
2　赤褐色土　炭化物・焼土ブロック（φ3～5 ㎝）多量　遺物ほとんどなし　しまりあり
3　炭層　　ボソボソした印象の土　板状の炭化材であった可能性がある
第 320 号土壙
1　赤褐色土　炭化物・焼土ブロック（φ3 ㎝）多量　しまりあり
2　赤褐色土　焼土ブロック（φ2～3 ㎝）・瓦片多量　しまりあり
第 326 号・371 号土壙
1　赤褐色土　盛土土層　約 7 割が焼土（大きなブロック状）　(SK326)
2　褐色土　炭化物（φ0.5～1.2 ㎝）・細かい焼土粒子多量　(SK326)
3　暗褐色土　盛土瓦層　瓦片主体　(SK326)
4　褐灰色土　シルト混入　炭化物（φ5～6 ㎜）・焼土（φ7～8 ㎜）混入　しまり強　(SK371)
5　灰黄褐色土　黄色粘土ブロック混入　炭化物（φ3～5 ㎜）・焼土（φ5～7 ㎜）微量　(SK371)
6　焼土　　硬化しているが床としての広がりはみられない　(SK371)
7　灰褐色土　シルト小ブロック（φ1 ㎝）混入　しまりやや弱　(SK371)
8　暗褐色土　炭化物（φ2～3 ㎜）・焼土（φ3～8 ㎜）微量　(SK371)

第 125 図　土壙（10）

S K 440・441・448



S K 443・444・445a・445b・446・447



第 440・448 号土壙
1　焼土　　炭化物（φ0.1 ～ 3 ㎝）・焼土ブロック（φ0.1 ～ 5 ㎝）主体に
　　灰褐色シルトが混じる（SK440）
2　砂　　（SK448）

第 441 号土壙
1　灰褐色土　　シルト混入　炭化物（φ0.2 ～ 1 ㎝）・木片多量　しまりあり
　　粘性なし
2　黒褐色土　　シルト混入　炭化物（φ0.3 ～ 3 ㎝）・木片多量　しまり・粘性なし
3　灰褐色砂質土　炭化物（φ2 ～ 3 ㎜）少量　木片含む　しまりなし　粘性弱

第 443 号土壙
1　焼土　　焼土ブロックと炭を主体に灰褐色シルトを含む　瓦多量

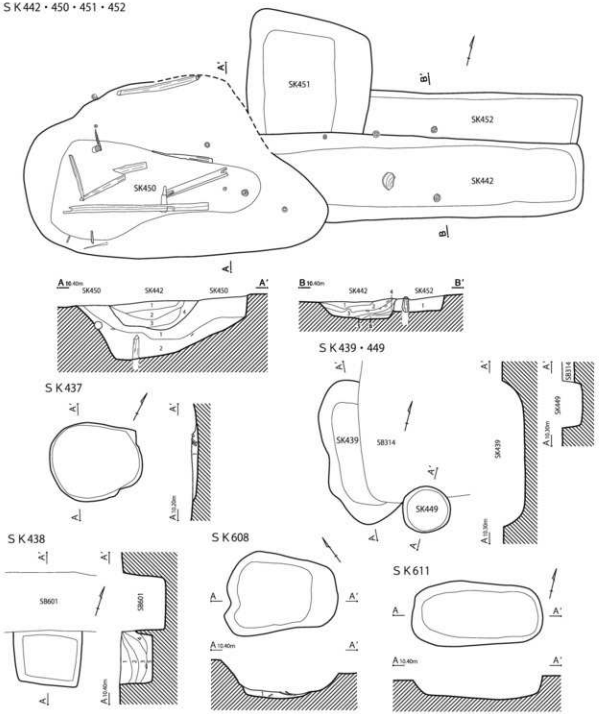
第 445a 号土壙
1　暗灰色土　　シルト混入　炭化物（φ4 ㎜）・木片少量　しまり・粘性あり
2　黒灰色土　　炭化物（φ5 ㎜）・木片多量　灰褐色シルト混入　しまり・粘性弱

第 445b 号土壙
1　灰色土　　シルト混入　炭化物（φ2 ～ 5 ㎜）多量　木片少量　しまり・粘性あり
2　黒灰色土　　炭化物（φ2 ～ 10 ㎜）・木片多量　焼土ブロック（φ5 ㎜）・
　　灰色シルト混入　しまりなし　粘性あり
3　灰褐色土　　炭化物（φ1 ～ 4 ㎜）多量　白灰色シルトブロック（φ0.3 ～ 1 ㎝）
　　含む　酸化鉄多く含む　しまり弱　粘性なし
4　黒褐色土　　炭化物（φ2 ～ 5 ㎜）含む　腐敗木材層　しまりなし　粘性有り
5　灰色土　　炭化物（φ3 ㎜）・酸化鉄少量　しまり弱　粘性なし
6　暗灰色土　　炭化物（φ3 ㎜）少量　しまりなし　粘性あり
7　暗灰色土　　炭化物（φ3 ㎜程度）少量　木片多量　しまりなし　粘性あり

第 446 号土壙
1　灰褐色土　　シルトを主体に砂細粒・炭化物（φ5 ㎜）含む　酸化鉄多量
　　しまり・粘性なし
2　暗灰褐色土　炭化物（φ3 ～ 5 ㎜）含む　しまり弱　粘性あり
3　灰褐色土　　炭化物（φ2 ～ 5 ㎜）多量　砂粗粒少量　しまりなし
　　粘性あり

第 447 号土壙
1　褐灰色砂　　粗い砂層　灰褐色シルトブロック（φ5 ～ 10 ㎝）多量
　　シルトブロックは風化せず、粒径もまばら　埋戻し
　　しまりなし

第 126 図　土壙（11）



第437号土壙
1　赤褐色土　　炭化物（φ2～5㎜）・焼けたスサ入り粘土ブロック（φ1～3㎝・壁土）多量　瓦片多量　しまり弱

第442号土壙
1　暗黄褐色砂　シルト混入
2　暗灰色砂　下部に粘質土堆積　炭化物（φ0.5～1㎝）多量　焼土微量
3　暗褐色土　木炭の縦食層　縞状に暗灰色土が混入
4　灰黄褐色土　砂質土混入　粘性弱
5　黄灰色砂　炭化物（φ0.5～1㎝）・焼土（φ5～8㎜）少量
6　黄灰色砂　木くず微量

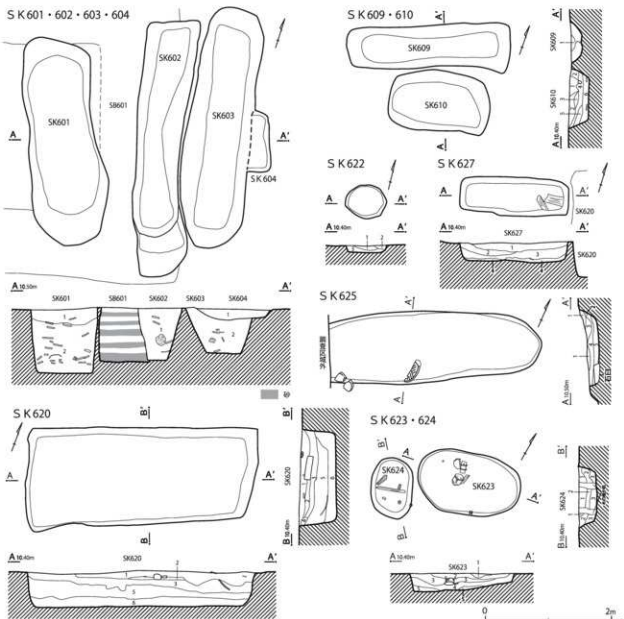
第450号土壙
1　黄灰色砂　下部に部分的に粘土が混入
2　暗褐色土　木炭が堆積した層　砂及び粘土ブロックがランダムに混入

第452号土壙
1　砂

第438号土壙
1　黄褐色土　炭化物・焼土（φ3～8㎜）多量　黄色粘土混入　しまりやや弱
2　暗色土　黄色砂粒多く混じる　しまり強　粘性なし
3　暗褐色土　若干水分多し　鰓の貝殻出土　しまり強　粘性あり
4　黒褐色土　ザクザクした印象の土　粘性なし
5　灰黒色土　灰色粘土ブロック（φ3～4㎝）混入　陶器皿出土　粘性なし

第608号土壙
1　黒灰色土　炭化物極めて多量　黄褐色砂少量　しまり極めて弱　粘性弱

第127図　土壙（12）

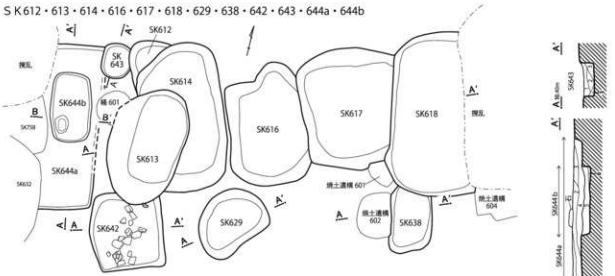


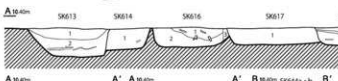
第 601 号土壙
1　灰褐色土　　炭化物（φ2～3㎝）・瓦片含む　しまりあり
2　黒色土　　炭化材・焼けた壁土多量　炭化米の塊・瓦片含む　しまりあり
第 602 号土壙
1　黒色土　　炭化材・焼けた壁土多量　炭化米の塊・瓦片含む　しまりあり
第 603 号土壙
2　黒色土　　炭化材・焼けた壁土多量　炭化米の塊・瓦片含む　しまりあり
第 604 号土壙
1　暗灰色土　　炭化物（φ5㎜）多量　しまり強
第 609 号土壙
1　明褐色土　　褐色砂多量　小木片含む　しまり弱　粘性極めて弱
2　褐色土　　炭化物（φ5㎜）少量　しまり・粘性弱
第 610 号土壙
1　明灰褐色土　炭化物少量　黄褐色土（φ2㎝）多量　しまりあり　粘性弱
2　灰褐色土　　黄褐色砂含む　しまりやや強　粘性弱
3　黄褐色砂質土　しまり弱　粘性極めて弱
4　灰褐色土　　炭化物（φ0.5～1㎝）・黄褐色砂含む　しまりあり　粘性弱
5　褐色土　　炭化物（φ0.5～1㎝）含む　しまりあり　粘性やや弱
6　暗褐色土　　しまりやや弱　粘性あり
第 620 号土壙
1　黒灰色土　　しまり弱
2　暗褐色土　　1 層土が約 4 割混入　木材片多量　陶器片出土　しまりなし
3　暗褐色土　　黒灰色土を含まない　木材片多量　陶器片出土　しまりなし
4　黄褐色土　　ブロック状の堆積　粘性弱
5　褐灰色土　　炭化物（φ5～7㎜）多量　しまり強　粘性あり
6　灰黒色粘土　　シルト混入　炭化物（φ3～8㎜）多量　しまり強

第 622 号土壙
1　灰黒色土　　サササした印象の土　上面より軽瓦出土
2　灰褐色土　　焼土（φ3～5㎜）少量　しまり強
3　灰黄色土　　炭化物（φ2～3㎜）微量　しまり強
第 623 号土壙
1　褐灰色土　　焼土（φ3～6㎜）少量　しまり強
2　暗褐色土　　炭化物（φ2～3㎜）多量　焼土（φ5～8㎜）少量　しまり強
3　灰褐色土　　炭化物（φ5～6㎜）多量　中央部より曲物出土　しまり強
4　暗黄褐色土　焼土（φ5～7㎜）少量　しまり強
5　灰黄褐色土　砂少量　部分的に鉄分が沈着　しまり強
第 624 号土壙
1　灰黄色土　　炭化物（φ0.7～1㎝）・焼土（φ0.8～1.5㎝）多量
2　灰褐色土　　焼土（φ2～3㎜）多量　しまり強
3　褐灰色土　　炭化物（φ7～8㎜）少量　焼土（φ3～5㎜）多量　しまり強
第 625 号土壙
1　赤褐色土　　約 8 割強が焼土
2　黒褐色土　　焼土少量（約 4 割）
3　灰褐色土　　焼土（φ0.8～1.2㎝）微量
4　褐灰色土　　陶器片微量　しまり強
5　灰褐色砂　　炭化物（φ5～8㎜）少量
第 627 号土壙
1　黄色砂　　サラサラした印象の土　漆喰片を若干含む
2　暗褐色土　　炭化物（φ0.8～1.5㎝）多量　焼土（φ5～7㎜）微量
3　褐色砂　　腐食木片多量　しまり強
4　暗褐色砂　　他のものをあまり含まない　しまり強　粘性弱

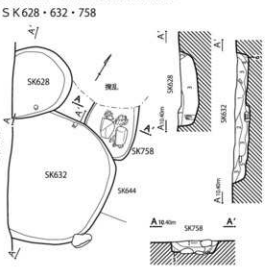
第 128 図　土壙（13）

S K612・613・614・616・617・618・629・638・642・643・644a・644b





S K628・632・758



第 613 号土壙
1　暗褐色土　　炭化物ややや多量　黄褐色土ブロック（φ3 ㎝）含む　しまりあり　粘性ややあり
2　褐色土　　炭化物少量　しまり弱　粘性あり

第 614 号土壙
1　橙褐色土　　炭化物（φ2 ㎝）ややや多量　焼土ブロック（φ2 ～ 3 ㎝）多量　しまり・粘性弱

第 616 号土壙
1　暗灰色土　　炭化物含む　焼土粒多量　しまりあり　粘性弱
2　橙褐色土　　炭化物（φ2 ㎝）ややや多量　焼土ブロック（φ2 ～ 3 ㎝）多量　しまり・粘性弱
3　灰褐色土　　灰褐色シルトブロック（φ2 ㎝）含む　しまりあり　粘性弱

第 617 号土壙
1　橙褐色土　　炭化物（φ2 ㎝）ややや多量　焼土ブロック（φ2 ～ 3 ㎝）多量　しまり・粘性弱

第 618 号土壙
1　暗灰色土　　シルト質　木片・樹枝・木製品多量　しまりなし　粘性あり

第 628 号土壙
1　暗褐色土　　炭化物（φ5 ～ 7 ㎜）微量
2　暗黄褐色土　粘性弱
3　暗赤褐色土　焼土 4 割　木炭 6 割の層

第 629 号土壙
1　赤褐色土　　炭化物（φ5 ～ 8 ㎜）多量　焼土を約 7 割含む
2　黄褐色砂　　炭化物（φ0.7 ～ 1 ㎝）微量
3　暗褐色土　　炭化物（φ1 ～ 2 ㎝）多量　焼土（φ3 ～ 5 ㎜）微量

第 632 号土壙
1　黒色土　　壁土等が混じる　しまり弱
2　黒褐色土　　木片等少量　しまりやや強
3　暗褐色土　　瓦片や陶器片を含む　粘性弱
4　褐色土　　木が腐った層か　しまり弱
5　暗褐色土　　しまり極めて強　粘性あり
6　暗黄褐色土　炭化物（φ5 ～ 8 ㎜）・焼土（φ3 ～ 8 ㎜）少量　粘性あり

第 642 号土壙
1　暗褐色土　　腐食木質多量　しまり強
2　灰黄褐色土　凝灰岩の礫多量　しまり強　粘性あり
3　褐色土　　マンガン含む　炭化物（φ2 ～ 3 ㎜）微量　しまり強　粘性あり

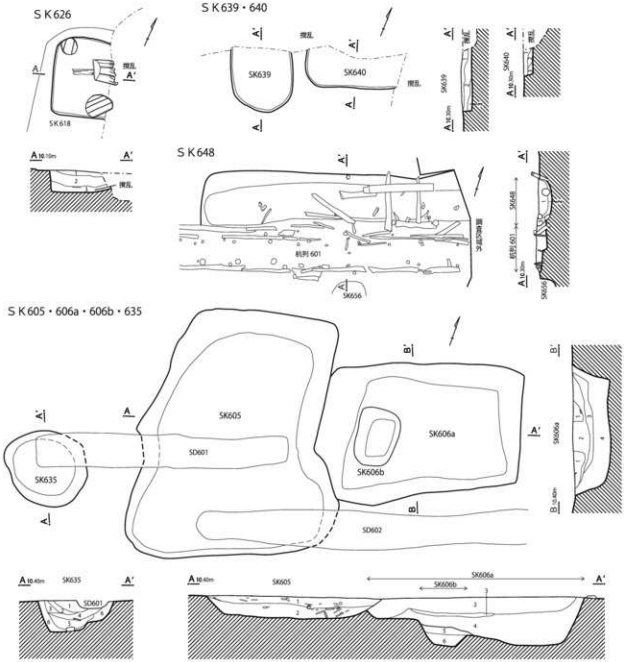
第 643 号土壙
1　暗褐色土　　炭化物（φ2 ～ 8 ㎜）・焼土（φ3 ～ 8 ㎜）多量　しまり強
2　褐灰色土　　炭化物（φ2 ～ 5 ㎜）微量　陶器出土　しまり強
3　灰黄褐色土　シルト混入　しまり強　粘性弱

第 644a 号土壙
1　褐色土　　炭化物（φ3 ～ 5 ㎜）微量　しまり強
2　褐灰色土　　炭化物（φ3 ～ 5 ㎜）多量　焼土ブロック（φ3 ～ 5 ㎝）混入
3　灰黄褐色土　炭化物（φ3 ～ 5 ㎜）微量　しまり強
4　灰褐色土　　炭化物（φ0.2 ～ 1 ㎝）・焼土（φ0.5 ～ 1 ㎝）多量　しまり強

第 644b 号土壙
5　暗黄褐色土　炭化物（φ5 ～ 8 ㎜）多量　しまり強
6　黄褐色土　　他の粒子等含まない　粘性あり

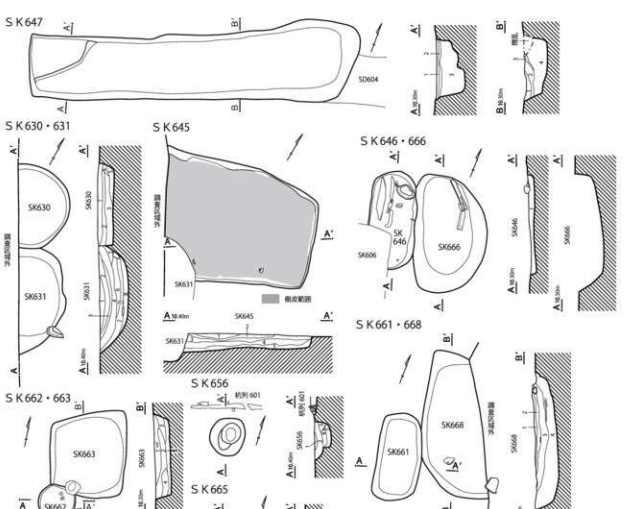
第 758 号土壙
1　褐色土　　炭化物（φ3 ～ 5 ㎜）微量　焼土（φ0.5 ～ 1.5 ㎝）多量　しまり強
2　暗褐色土　　ザクザクした印象の土　腐った木片混じる
3　灰褐色土　　しまり強　粘性弱

第 129 図　土壙（14）



第626号土壙
1　暗褐色土　焼土が７割強混じる
2　赤褐色土　９割以上が焼土
3　灰褐色土　焼土が３割強混じる　上面及び下面に板材含む
第639号土壙
1　暗褐色土　シルト混じる　炭化物（φ５～８㎜）多量　しまり強
2　灰褐色土　炭化物（φ３～５㎜）微量　しまり強
3　褐色砂　しまりやや強
第640号土壙
1　褐灰色土　炭化物（φ３～５㎜）・遺物多量　しまり強
2　灰褐色土　シルト混入　炭化物（φ２～５㎜）少量　しまり強
3　灰黄褐色土　炭化物（φ１～２㎜）微量　しまり強　粘性弱
第648号土壙
1　褐色土　フワフワした印象の土　もみ殻が堆積した層
2　灰黄色土　砂礫を混り込んでいる　しまりやや弱
3　褐灰色土　杭列601を掘り込む
第605号土壙
1　灰褐色土　炭化物（φ１㎝）・砂・木細片・灰・貝含む　しまり弱　粘性あり
2　暗灰色土　木製品片・陶器片多量　しまり弱　粘性あり
第606a・606b号土壙
1　褐色土　炭化物・黄褐色土ブロック（φ１～２㎜）・植物根を含む　しまりやや強　粘性やや弱（SK606a）
2　灰褐色砂　しまりなし（SK606a）
3　黒褐色土　炭化物多量　褐色ブロック（φ３～５㎝）含む　しまり・粘性弱（SK606a）
4　黒灰色土　炭化物極めて多量　小木片微量　しまり・粘性弱（SK606a）
5　黄褐色土　炭化物（φ５㎜）・黄褐色粘土ブロック（φ２㎝）少量　しまり弱　粘性あり（SK606b）
6　黒灰色土　炭化物極めて多量　しまり極めて弱　粘性弱　（SK606b）
第635号土壙
1　灰褐色土　炭化物（φ５～８㎜）微量　砂混入
2　黒色土　炭化した土　褐色粘土（φ２～３㎝）微量
3　褐灰色土　炭化物（φ５～８㎜）少量　しまり強
4　暗褐色土　焼土・炭化粒土微量　粘性弱
5　褐色土＋炭化材　砂質土多量　炭化材が約３割混入
6　黄色砂　しまりなし

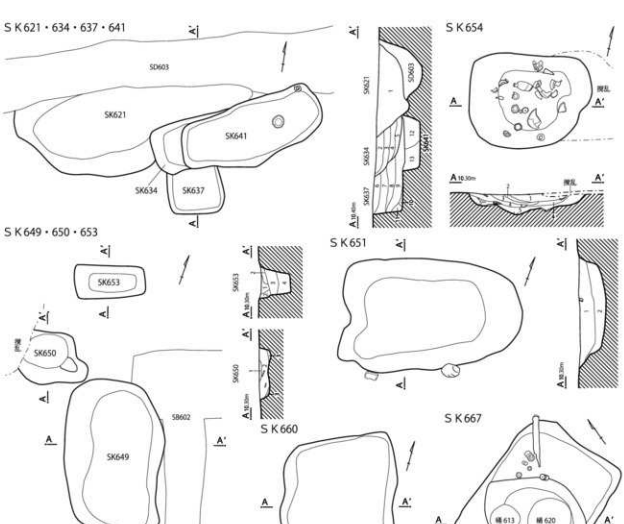
第130図　土壙（15）



第630号土壙
1 黒褐色土　シルトブロック（φ1～2cm）混入　しまりやや強
2 灰黄色砂　混化物（φ2～3mm）少量
3 褐灰色土　混化物（φ0.8～1cm）多量　しまり強　粘性あり
4 灰黒色土　小さな木片混じる　粘性あり
5 暗褐色土　混化物（φ5～8mm）多量　しまり強
第631号土壙
1 暗灰色土　混化物（φ0.8～2cm）・焼土（φ1～1.5cm）少量
2 赤褐色土　混化物（φ0.3～1.5mm）多量　焼土が7割強
3 黄褐色砂　混化物（φ5～8mm）微量
4 灰黒色土　混化物（φ1～2cm）が3割強混入　しまり強
5 灰褐色土　混化物（φ0.5～2cm）少量　粘性あり
6 黒灰色土　ザクザクした印象の土　混化物（φ1～3cm）多量
7 褐灰色土　混化物（φ5～7mm）微量　粘性弱
8 暗灰褐色土　混化物等を含まない　瓦片少量　粘性弱
第645号土壙
1 暗灰黄色土　混化物（φ3cm）含む（下層より多い）　しまりやや強　粘性弱
2 暗灰黄褐色土＋黄褐色シルトブロック（φ1～3cm）　しまり・粘性あり
3 暗灰褐色土　1層よりやや砂っぽい　しまり・粘性あり
4 灰黄色砂質土　厚5mm前の薄層が水平に何層も堆積　混化物（φ2cm）少量
5 にぶい明赤褐色土　腐食木質層　しまり極めて強
第646号土壙
1 暗灰褐色土　混化物（φ1cm）・焼土粒子含む　しまりあり　粘性強
第647号土壙　A-A'
1 混化物主体層　木材片少量含む　土面を覆うように堆積
2 黄白色砂質土　混化物粒多量　土面を覆うように堆積　しまり弱
3 灰色土主体層　混化物ブロック（φ5cm）多量　焼土ブロック（φ2cm）少量
第647号土壙　B-B'
1 灰褐色土　混化物（φ5mm）多量　砂の薄層を含む　しまり・粘性あり
2 灰褐色土　砂少量　下部に混化物多量　しまり・粘性あり
3 灰褐色土＋混化物の混合層　2層より黄灰色砂を多く含む
4 黒色土　混化物ブロック（φ2～3cm）主体層

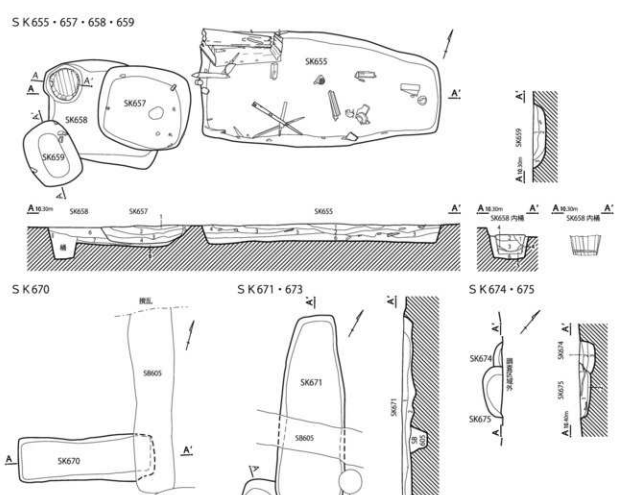
第656号土壙
1 灰黒色土　混化物（8割）　灰黄色土（2割）
2 黒色土　混化物層
3 黒褐色土　2層に比し粒子の細かい炭が堆積
4 褐灰色土　混化物（φ3～5mm）多量　粘性弱
5 灰黄褐色土　混化物（φ2～5mm）少量　粘性弱
第661号土壙
1 淡い灰褐色土　混化物（φ3～8mm）2割強混入　しまり強
2 灰褐色土　混化物（φ0.8～1.5cm）3割強混入　板材多　しまり強
3 灰黒色土　混化物（φ3～8mm）少量　板材多量　しまり強　粘性弱
4 褐灰色土　ザクザクした印象の土　8割強が混化物（φ0.8～2cm）
5 暗黄褐色土　混化物（φ3～7mm）少量　しまり強　粘性あり
6 暗黄色砂　混化物（φ0.5～1cm）微量
第662号土壙
1 褐色土　ザクザクした印象の土　焼土（φ3～7mm）多量
2 暗褐色土　シルト混入　混化物（φ5～8mm）多量　しまり強
3 黒褐色土　シルト混入　しまり強
4 灰黒色土　混化物（φ3～8mm）・焼土（φ2～5mm）微量　しまり強
第663号土壙
1 灰褐色土　混化物（φ5～12mm）少量　しまり強
2 暗褐色土　砂多量　混化物（φ5～8mm）微量　しまり強
3 灰黒色土　他の粒子をほとんど含まない　しまり強
4 褐灰色土　鉄分・混化物（φ1～1.2cm）多量　しまり強
5 暗黄褐色砂　混化物（φ3～5mm）微量　しまり強
第665号土壙
1 混化物（φ1～2cm）主体層　木材片少量　しまりなし
第668号土壙
1 黄褐色砂　木材片（長1～2cm）少量　しまりあり
2 混化物主体層　木材含む　しまりやや弱
3 黄灰色土　やや砂質　木材少量　しまりやや強　粘性あり
4 黄灰色土　木材を極めて多く含む（特に針葉樹皮が多い）

第131図　土壙（16）



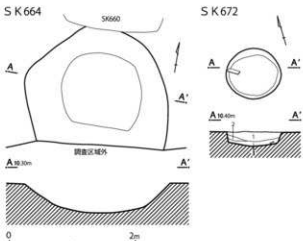
第621号土壙
1　黄褐色砂　しまり・粘性なし
第634号土壙
2　赤褐色土　約8割が焼土　残りの2割が炭化物（φ0.5～1cm）
3　橙褐色土　約9割が焼土　炭化物（φ5～8mm）微量
4　暗赤褐色土　焼土約4割　炭化材（φ6cm）混入
5　灰色砂
第637号土壙
6　褐灰色土　炭化物（φ0.5～2cm）多量　しまり強
7　暗灰褐色土　炭化物（φ3～5mm）少量　しまり強
8　褐灰色土　炭化物（φ0.5～1cm）微量　しまり強
9　灰黒色土　シルト混入　炭化物（φ0.5～1.2cm）多量　しまり強
10　暗黄褐色土　シルト混入　炭化物（φ3～5mm）微量　しまり強　粘性弱
11　黄褐色砂　サラサラした印象の土　マンガン含む
第641号土壙
12　黒褐色土　ザクザクした印象の土　焼土（φ0.5～1cm）・木片多量
13　暗褐色土　焼土（φ5～7mm）約3割混入　水分多い　粘性弱
第649号土壙
1　焼土＋瓦　焼土微量　9割以上が瓦層
2　灰黄色土　シルト層　鉄分沈着
第650号土壙
1　灰褐色土　炭化物（φ7～10mm）含む　しまり極めて強
2　赤褐色土　焼土ブロック（φ2～7cm）8割強含む　しまり極めて強
3　暗赤褐色土　被熱　完全に赤化していない　しまり強
第651号土壙
1　灰褐色砂　陶磁器・ガラス瓶等出土
2　褐色砂
第653号土壙
1　灰黄褐色土　焼土（φ3～4mm）混入　しまり強
2　黄褐色砂　砂層の堆積　しまり弱
3　灰褐色砂　砂層の堆積　しまり弱
4　褐色砂　砂層の堆積　しまり弱
第654号土壙
1　褐灰色土　炭（φ2～5cm）多量　しまり強
2　褐灰色土　9割以上が炭化物　しまり強
3　灰黄色砂　部分的に褐色土混入　しまり・粘性なし
4　灰褐色土　木製品片多量　粘性あり
5　暗赤褐色土　約7割が焼土
第660号土壙
1　黒褐色土　炭化材層・焼土多量　焼土の割合は4割強
2　灰黄褐色土　砂多量　しまり強　粘性弱
第667号土壙
1　灰黄褐色土　砂質　炭化物（φ1cm）少量　酸化鉄分多量　粘性弱
2　灰褐色土　木材片混入　粘性弱
3　灰褐色土　炭化物（φ1cm）含む　腐食木材多量　しまり弱　粘性強

第132図　土壙（17）



第655号土壙
1　灰黒色土　　フカフカした印象の土　炭（φ2㎝）多量　漆喰混入
2　暗褐色土　　炭化物（φ5～10㎜）微量　漆喰多量　しまり強
3　灰褐色土　　下部に酸化状のものが混じる　しまり強
4　褐色土　　炭化した土が粒々状　しまり強
5　褐色土　　フカフカした印象の土　木くずが多く混入
6　暗黄褐色土　砂・炭化物（φ3～8㎜）多量　一部炭化物堆積　しまり強
第657号土壙
1　暗褐色土　　フカフカした印象の土　炭化物（φ2㎝）多量
2　明茶褐色土　シルト含む　炭化物（φ8～10㎜）少量　しまり弱
3　褐色土　　フカフカした印象の土　おがくず状の物質が混入
4　黒褐色土　　しまりやや強
5　灰褐色砂　　部分的に堆積する層
第658号土壙
6　褐灰色土　　炭化物（φ3～8㎜）多量　焼土ブロック（φ3㎝）含む
　　しまり強
7　暗褐色土　　炭化物（φ3㎜）・焼土（φ3㎜）微量　しまりやや強　この層
　　より桶を埋設
8　灰黒土　　炭化物（φ2～3㎜）少量　しまりやや強　粘性弱
第658号土壙内桶
1　灰褐色土　　炭化物（φ5～8㎜）微量　しまり強
2　褐灰色土　　しまり強　粘性あり
3　暗褐色土　　しまり強　粘性あり
4　灰褐色砂　　しまりやや強
5　橙褐色土　　桶底底下の土　部分的に黒色土混入　しまり弱　粘性あり
6　褐色土　　砂多量　桶底下の土　しまり弱　粘性あり
第659号土壙
1　灰褐色土　　炭化物（φ3～8㎜）微量　鉄分含む　しまり強
2　褐灰色土　　炭化物（φ2～3㎜）・焼土（φ3～6㎜）微量　しまり強
3　暗黄褐色土　　黄色土ブロック多量　しまり強
第670号土壙
1　灰黄褐色土　　炭化物（φ2㎝）・焼土ブロック（φ2㎝）少量　しまり強
　　粘性あり
2　黄灰色砂　　比較的均一　下位に同色の粘質土ブロック（φ3～5㎝）少量
第671号土壙
1　黄灰褐色砂質土　炭化物ブロック（φ2～3㎝）多量　白色物質（漆喰か）・貝
　　（シジミ）少量　しまりあり
2　灰黄褐色土　　焼土ブロック（φ3～5㎝）含む　しまりあり　粘性弱
第673号土壙
1　灰褐色土　　炭化物（φ1～2㎝）・焼土塊（φ2～3㎝）多量（人為埋土）
　　しまりやや強
2　灰褐色土　　灰黄褐色土（φ2～3㎝）含む　ボソボソした印象の土　小石
　　少量　しまりやや弱
3　灰黄褐色土　　部分的に同色の砂を混じえる　しまりやや弱
第674号土壙
1　褐灰色土　　しまりやや強
2　暗褐色土　　炭化物（φ2～3㎜）微量　しまり強
3　黄褐色土　　砂多量　しまり強
第675号土壙
1　暗褐色土　　瓦含む　しまりやや強
2　黒色土　　炭化物層

第133図　土壙（18）



第134図 土壙（19）

半胴甕各1個体分、被熱した京都信楽系陶器半球形碗、体部を砥具に転用した焙烙片が認められる。第187・188図18～27に軒桟瓦、隅瓦、第195～197図98～117にその他の瓦を示す。98は、本陣池田家の家紋である揚羽蝶文の瓦で、この時の火災で本陣の建物が被災した可能性を示唆する。第221図7～10には被熱した壁土材を示す。

第361・362・363号土壙（第117図）

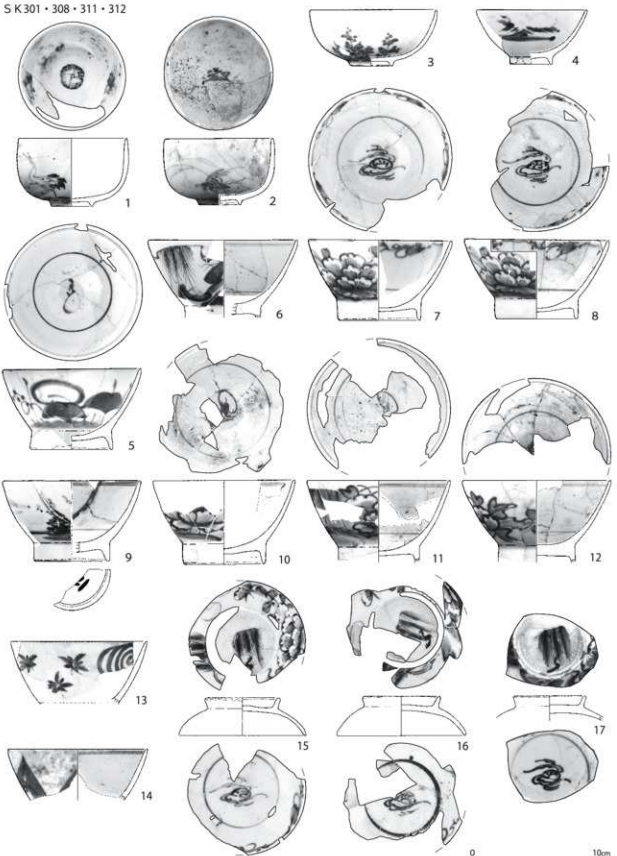
C6-F4・5、G4・5グリッドに位置する。第361号土壙は第312号土壙と並ぶように検出された主軸方向N-20°-Wの隅丸長方形土壙である。第362・363号土壙はその南側に直交する方向（主軸方向N-71°-E・N-69°-E）で検出された隅丸長方形土壙である。覆土はいずれも瓦・焼土を主体とし、火災処理に伴う他の土壙と共通する。陶磁器にも被熱資料が認められ、特に第362号土壙ではほぼ全て被熱する。全体的には18世紀後葉～末の様相を示す。また、出土した肥前磁器広東碗に、第301号土壙の被熱資料（第135図6～8・10～12）と同文の被熱資料が認められ、これらと同時期の遺構と考えられる。第155図128・129は第361号土壙、130～136は第363号土壙の陶磁器である。128は京都系陶器で、色絵盛上げで装飾される。129は砥具転用の陶器擂鉢、130は「モヤ七十弐」の墨書がある陶器片口鉢、131は「紅」上絵付の京都信楽系陶器坏である。第188図33～35、第197・198図120～125は第362号土壙の出土瓦である。第211図63～77は金属製品で、釘類が多い。66は銅製容器類で、第312号土壙から被熱した同種の破片が多く出土している。第214図9は第363号土壙出土の念仏銭である。石製品は第362号土壙から出土したものを第215図に示した。13は被熱した砂岩製砥石で、側面に尖った工具によるツキ痕がある。石材の分割に係る痕跡であろうか。第217・218図50～52は加工石材で、51・52は庭燈籠の中台・笠と考えられる。黄色味の強い砂岩で、牛伏砂岩に類似する。第221図には被熱壁土材の一部を示す。第362号土壙からは炭化した繊維製品（写真図版115）が多量に出土しており、他の火災処理遺構と共通する遺物と捉えられる。

第370号土壙（第123図）

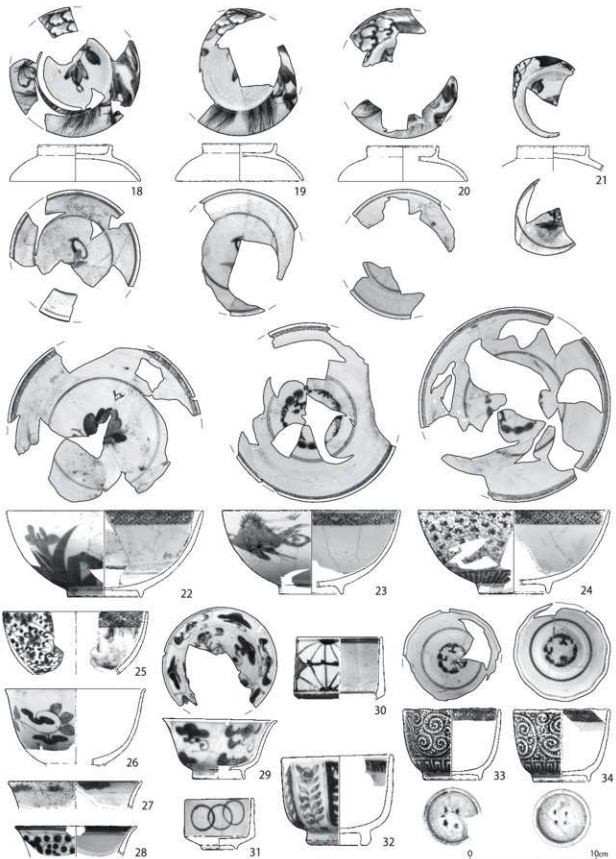
C6-G6グリッドに位置する楕円形の土壙で、第316・317号埋設桶より新しい。覆土中～下層から瓦片とともに魚骨がまとまって出土し、自然科学分析によりマグロ属と鑑定された（第V章参照）。第156図139～143には出土した陶磁器を示す。瀬戸美濃系磁器の端反碗が多く、湯呑形碗も伴う。非図化個体には、内面無文の瀬戸美濃系磁器型押反皿が含まれる。142は口縁部が波状の瀬戸美濃系陶器皿で、第317号埋設桶出土の破片と接合している。高台部に窯内付着物がある。143は施釉土器質の土瓶と考えられ、外面はトビガンナ状に施文され、筒描き状の白盛で絵付される。他に、火打石（第215図14）と硝子製笄（第219図4・5）が出土している。

第377・378号土壙（第123図）

C6-G4・5、H4グリッドに位置し、一部が重複して検出された。最上層には瓦片が多いが、下層では木材が多く含まれている。第156・157図



第135図　土壙出土遺物（1）



第 136 図　土壙出土遺物（2）